

# 長崎県病院企業団第2次中期経営計画 (平成29年度～平成32年度)



平成29年3月

長崎県病院企業団

# 目 次

I	長崎県病院企業団の基本理念	1
II	長崎県病院企業団の基本方針と果たすべき役割	1
1	基本方針	1
2	果たすべき役割	1
3	重点課題	2
III	長崎県病院企業団の現状と課題	3
1	長崎県病院企業団の概要	3
2	地域医療と企業団病院を取り巻く環境	4
3	これまでの取り組みの検証	7
4	各地域の課題	10
5	構成団体負担の考え方	13
IV	第2次中期経営計画の基本的な考え方	14
1	策定趣旨	14
2	計画の位置づけ	14
3	計画期間	14
V	第2次中期経営計画の取組方針	14
VI	長崎県病院企業団全体の取り組み	15
VII	各地域及び病院における取り組み	18
VIII	進行管理（点検・評価・公表）	45
IX	全体、各地域及び病院ごとの収支計画	45
	【参考】	
	資料1 長崎県病院企業団病院の概要	76

## I 長崎県病院企業団の基本理念

**医療の地域偏在が顕著な長崎県の離島・周辺部における継続性のある良質な医療の提供と医療レベルの向上を図り、県民の健康な生活に貢献する。**

## II 長崎県病院企業団の基本方針と果たすべき役割

### 1 基本方針

- 長崎県全域の精神科医療の中核を担う精神医療センターをはじめ、県南、五島、上五島、対馬及び壱岐医療圏の中核を担う公立病院として、「長崎県医療計画」に基づいた政策医療の安定的な確保を図ります。
- 「長崎県地域医療構想」との整合性を図り、基幹病院を中心に将来を見据えた地域に必要とされる医療提供体制を構築します。
- 高度・良質な医療を継続的に提供するため、安定的な黒字化を目指し、健全経営に努めます。

### 2 果たすべき役割

- 地方公共団体が経営する地方公営企業である病院事業として、経済性の発揮と公共の福祉の増進という公共性の両立に努めます。
- 公立病院として、地域に不足している医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供します。

### **3 重点課題**

○当病院企業団は、厳しい医療環境下で様々な課題を有していますが、重点課題として次のとおり定め、課題解決に向けた取り組みを積極的に推進します。

○また、職員の一体感の醸成にも努めます。

- 医師等医療従事者の確保
- 医療の質の維持・向上
- 病病・病診連携、医療・介護連携の推進
- 病床機能の見直し
- 地域に信頼される病院づくり
- 経常収支の安定的黒字化
- 職員の意識改革・人材育成

### Ⅲ 長崎県病院企業団の現状と課題

#### 1 長崎県病院企業団の概要

○長崎県病院企業団は、平成 19 年 7 月「県立及び離島医療圏組合病院あり方検討懇話会（外部有識者会議）」からの提言を受けて、旧県立 2 病院と旧離島医療圏組合 9 病院について、長崎県と島原地域、五島地域及び対馬地域の 5 市 1 町（島原市、南島原市、雲仙市、五島市、新上五島町及び対馬市）で経営する一部事務組合として、平成 21 年 4 月 1 日に発足しました。

○当病院企業団は、発足時から地方公営企業法の全部を適用し、精神医療センターは県の精神科医療の中核病院として、その他の病院は長崎県の周辺部における地域・離島医療の中核を担う病院として、地域に必要とされる医療の提供を行っています。

○また、平成 27 年 4 月 1 日には、新たに壱岐市が加入し、現在、8 病院 3 附属診療所を運営しています。（病院の概要は資料 1 を参照）

#### 【企業団設立後の病院数、病床数の推移】



#### ■ 県立及び離島医療圏組合病院あり方検討懇話会報告書（骨子）

- ①運営主体については、県と地元（島原地域、五島地域及び対馬地域）5 市 1 町が共同体を形成して運営すべきである。
- ②共同体は、県立精神医療センター、県立島原病院及び離島においては現在の入院医療機能を集約化した上で基幹病院をもって構成する。  
なお、県立精神医療センターは、離島の基幹病院の精神科支援を担っていることから共同体に加える。
- ③経過措置として共同体設立時には県立 2 病院及び離島医療圏組合 9 病院（地域病院含む）により運営を開始し、一定期間経過後に上記②の形態に改めることも考慮すべきである。なお、地域の事情によっては、（地域病院についても）一定期間経過後も分院あるいは附属診療所として共同体での運営を検討すべきである。
- ④将来的には、県内の周辺医療の確保の観点から他の 2 次医療圏の市町の参画についても別途検討すべきである。
- ⑤共同体の運営形態としては、より効率的な運営を行うため、地方公営企業法を全部適用した一部事務組合又は共同設立による地方独立行政法人とするべきである。

## 2 地域医療と企業団病院を取り巻く環境

○地域医療を取り巻く環境は、住民意識の変化や人口減少、社会保障費の抑制、医療従事者の確保難、特定の診療科や地域における医師の偏在など依然として厳しい環境に置かれています。

○医療従事者のうち医師、看護職員数を見ると、人口10万人当たりの医師数、看護職員数ともに長崎県は全国を上回っていますが、当病院企業団が医療を担っている二次医療圏では、医師数では全国を大きく下回っており、看護職員数では全国は上回っているものの、長崎県全体と比較するといずれも下回っており、特に上五島、対馬圏域では顕著となっています。

○このように、長崎県の都市部と離島等の県周辺部では、医療の地域偏在・格差が認められ、特に離島においては、医師等医療従事者不足が深刻なものとなっています。

＜医師・看護職員数の比較＞ (単位:人)

区分	医師数		看護職員数	
		人口10万対		人口10万対
全国	296,845	233.6	1,509,340	1,187.7
長崎県	3,988	287.8	25,211	1,819.6
県南	234	169.9	2,303	1,671.7
五島	74	195.0	626	1,649.8
上五島	31	136.5	276	1,215.2
対馬	51	161.0	399	1,259.9
壱岐	41	149.3	421	1,533.3

※医師数は、H26医師・歯科医師・薬剤師調査(医療施設従事者数)による。

※看護職員は、H26保健師・助産師・看護師・准看護師業務従事者届(就業者数)による。

※構成市町を含む二次医療圏別

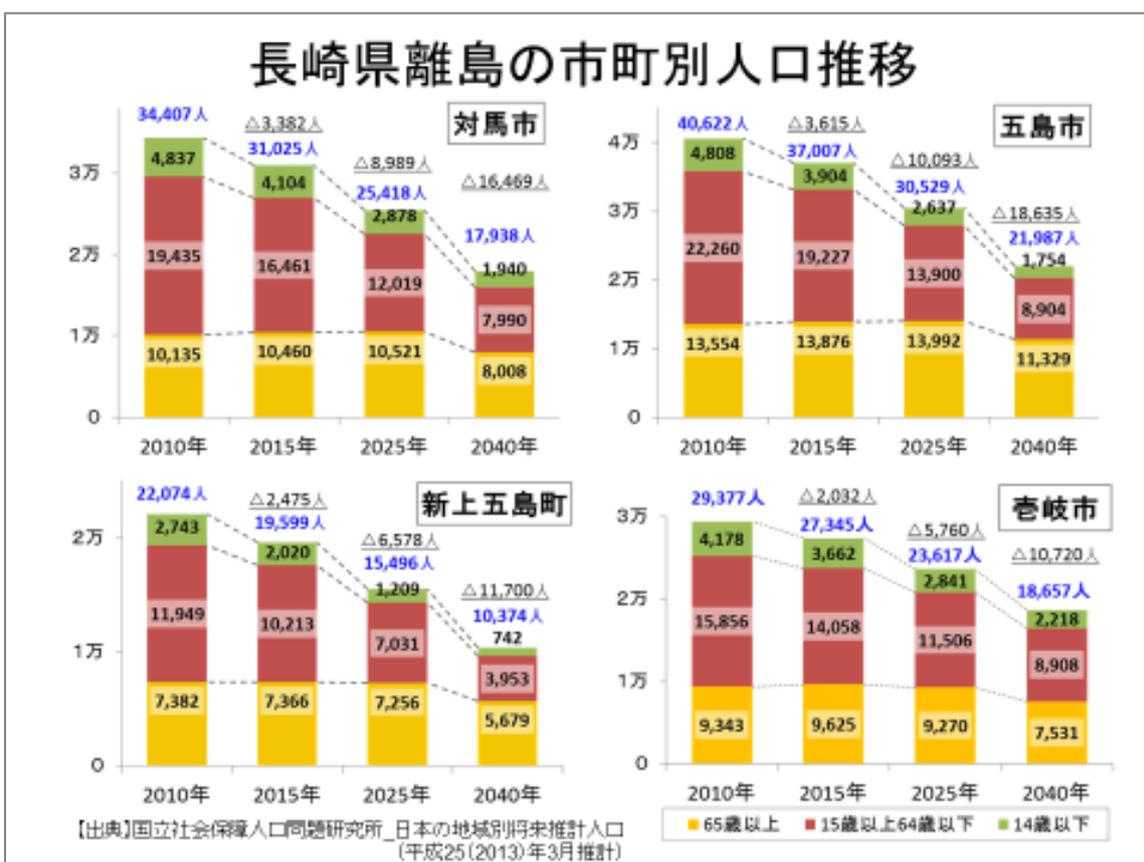
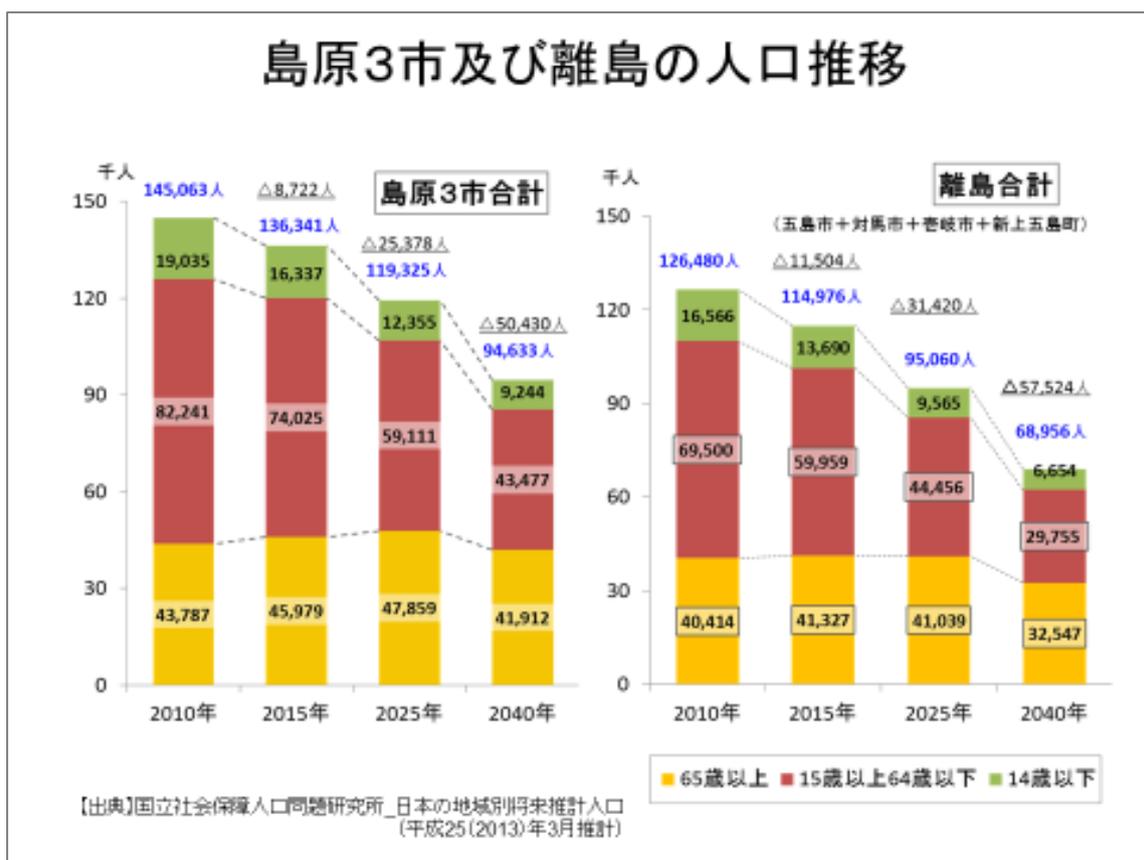
○また、当病院企業団が医療を担っている長崎県の周辺部においては、人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しています。また、老年(65歳以上)人口もしばらくは現状を維持しますが、その後は減少に転じることが予想されます。

＜構成団体の人口動向＞ (単位:人、%)

区分	人口及び人口減少(増加)率				年少(15歳未満)人口の割合			老年(65歳以上)人口の割合		
	H22	H27	H27-H22		H22	H27	H27-H22	H22	H27	H27-H22
			実数	増減率						
全国	128,057,352	127,110,047	△ 947,305	△ 0.7	13.2	12.6	△ 0.6	23.0	26.6	3.6
長崎県	1,426,779	1,377,187	△ 49,592	△ 3.5	13.6	13.0	△ 0.6	26.0	29.6	3.6
企業団構成市町	271,543	251,691	△ 19,852	△ 7.3	13.0	12.3	△ 0.7	30.9	34.6	3.7
本土計	145,063	136,086	△ 8,977	△ 6.2	13.1	12.4	△ 0.7	30.2	33.5	3.3
島原市	47,455	45,436	△ 2,019	△ 4.3	13.4	12.9	△ 0.5	29.3	32.6	3.3
雲仙市	47,245	44,115	△ 3,130	△ 6.6	13.4	12.5	△ 0.9	28.8	31.7	2.9
南島原市	50,363	46,535	△ 3,828	△ 7.6	12.6	11.8	△ 0.8	32.3	36.3	4.0
離島計	126,480	115,605	△ 10,875	△ 8.6	12.8	12.2	△ 0.6	32.0	35.8	3.8
五島市	40,622	37,327	△ 3,295	△ 8.1	11.8	11.1	△ 0.7	33.4	36.8	3.4
新上五島町	22,074	19,718	△ 2,356	△ 10.7	12.4	10.4	△ 2.0	33.4	37.7	4.3
対馬市	34,407	31,457	△ 2,950	△ 8.6	14.1	13.1	△ 1.0	29.5	33.9	4.4
壱岐市	29,377	27,103	△ 2,274	△ 7.7	14.1	13.8	△ 0.3	29.5	35.5	6.0

※国勢調査による。

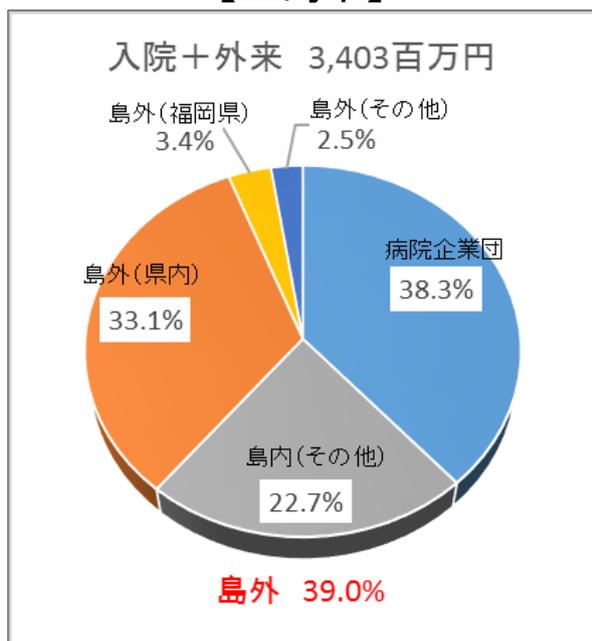
＜病院企業団が運営する病院が所在する構成市町の将来推計人口＞



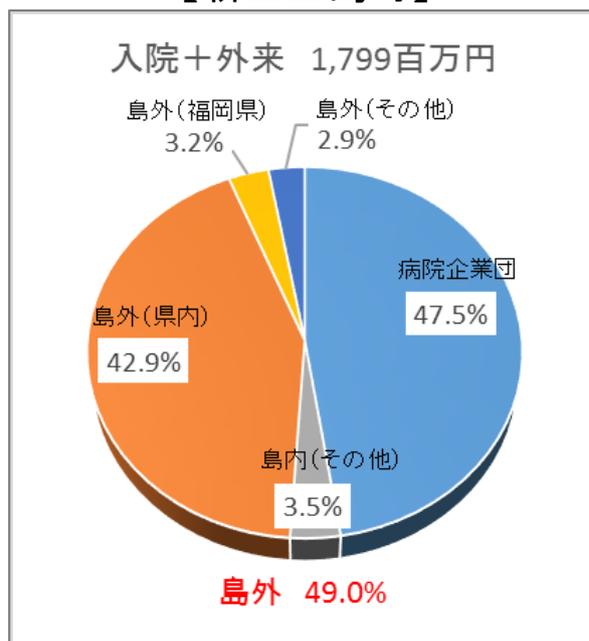
○離島における国民健康保険加入者の受診医療機関を見ると、島外の医療機関への受診は医療費ベースで約4割～5割を占めており、今後も人口減少が続く中で、医療の質の維持・向上を図り、患者流出に歯止めをかけ、島内で治療可能な患者の島内での受診を促進する取り組みが急務となっています。

<平成27年度国民健康保険加入者受診医療機関動向調査>

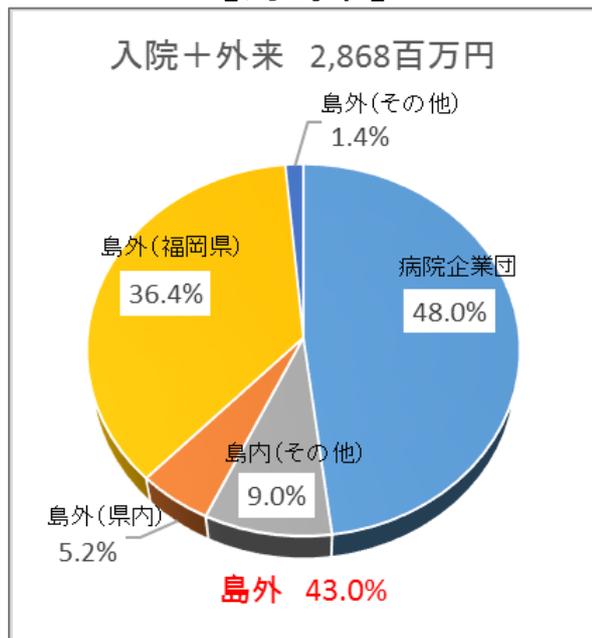
【五島市】



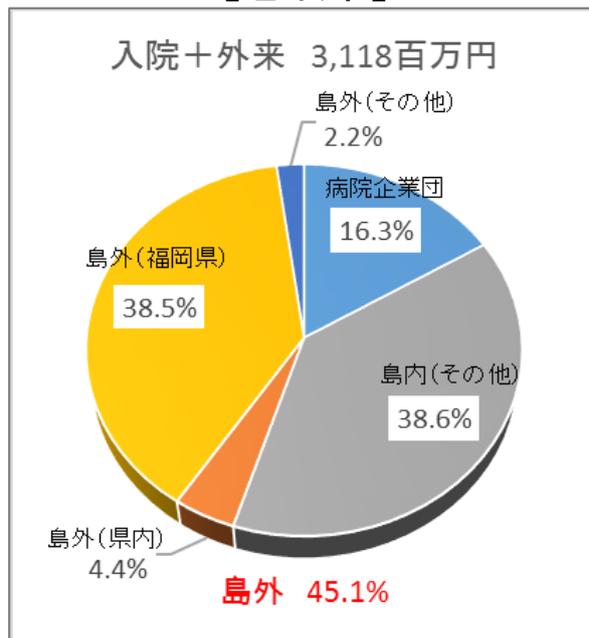
【新上五島町】



【対馬市】



【壱岐市】



### 3 これまでの取り組みの検証（病院改革プラン、中期経営計画）

当病院企業団では、平成21年3月に策定した「病院改革プラン」や構成団体の方針、また、平成24年3月に策定した「中期経営計画」に基づき、経営改善や病院再編等に取り組んできました。

#### （1）経営の健全化

○経営面では、病院改革プランに掲げた目標値を達成するとともに、病院企業団設立2年目で黒字化と累積欠損金の解消を達成しました。

○これは、医薬品購入等の共同事業や各病院における診療報酬施設基準（加算）の取得・維持、病院機能強化等の経営効率化の取り組みに加え、地域医療再生基金の創設や診療報酬のプラス改定、公立病院に対する交付税措置の拡充など、地域医療確保のための財政支援の充実等が図られたことが大きな要因となっています。

○しかしながら、昨今の著しい人口減少等に伴う患者数の減や病院再編に伴う新病院開院準備等の影響などで収益が減少し、経営状況は悪化しており、平成27年度には、経常収支が赤字に陥っています。平成26年度の会計基準の見直しにより全体としては利益剰余金を計上してはいるものの、全職員が経営に関する危機意識を共有し、経営健全化に向けた具体的な対策について、一丸となって取り組むことが必要です。

#### <病院改革プランの目標値と実績（経常収支比率）>

H21：目標 99.3% → 実績 99.7%（達成）

H22：目標 100.4% → 実績 101.6%（達成）

H23：目標 100.6% → 実績 101.9%（達成）

#### <中期経営計画の目標と実績（経常収支比率）>

H24：目標 102.1% → 実績 102.4%（達成）

H25：目標 101.7% → 実績 101.1%（未達成）

H26：目標 101.9% → 実績 101.7%（未達成）

H27：目標 100.8% → 実績 97.9%（未達成）

#### （2）離島病院の再編

○当病院企業団では、人口減少が著しく、医師等医療従事者の確保が困難な離島地域においては、医療資源の集約化や機能分担による将来を見据えた医療提供体制の構築により、地域が必要とする医療水準の維持を図ることが必要であると考え、構成団体の同意のもと離島病院の再編を進め、平成27年5月の対馬病院開院をもって、病院再編は一定完了したところです。

○離島病院は、上五島地域の2病院の無床診療所化、五島地域の1病院の有床診療所化、対馬地域の2病院の統合により、企業団発足時の9病院から5病院3附属診療所となり、病床数も230床減少しました。（H27.4.1 壱岐病院加入により、6病院3附属診療所）

離島病院再編の状況

【五島地域】

○奈留病院の五島中央病院附属診療所化（19床） H26.1

- ・診療所の大規模改修（スプリンクラー設置を含む）H27.6

○五島中央病院の勤務環境の整備 H27.12

- ・人材確保のための職員宿舎・院内保育所の整備

<再編前>

名称		病床数
基幹病院	◎五島中央病院	304
地域病院	○富江病院	55
	○奈留病院	52
◎基幹病院1、○地域病院2		411



<再編後>

名称		病床数
基幹病院	◎五島中央病院	304
附属診療所	・奈留医療センター	19
地域病院	○富江病院	55
◎基幹病院1、○地域病院1、・附属診療所1		378

【上五島地域】

○有川病院の上五島病院附属診療所化（無床） H21.11

- ・外来機能強化のため、人工透析室、リハビリテーション室等を整備（H22）

○奈良尾病院の上五島病院附属診療所化（無床） H23.4

- ・通院利便地へ新診療所を建設（H24.4 新診療所開設）
- ・旧奈良尾病院の解体（H27.3）

○上五島病院の医療機能強化 H28.7

- ・外来増築・改修（入院機能集約化による遠方患者付添い宿泊施設設置含む）

<再編前>

名称		病床数
基幹病院	◎上五島病院	186
地域病院	○有川病院	50
	○奈良尾病院	60
◎基幹病院1、○地域病院2		296



<再編後>

名称		病床数
基幹病院	◎上五島病院	186
附属診療所	・有川医療センター	—
	・奈良尾医療センター	—
◎基幹病院1、・附属診療所2		186

【対馬地域】

○対馬いづはら病院と中対馬病院を統合し、対馬病院を開院 H27. 5

- ・新病院（対馬病院）を移転新築（H27. 2）
- ・対馬病院の人材確保のための職員宿舎・院内保育所の整備（H28. 1）
- ・旧中対馬病院の解体（H28. 3）
- ・旧対馬いづはら病院の対馬市への建物譲渡（H28. 3）  
⇒対馬市が無床診療所等として活用

○上対馬病院の再整備

- ・療養病床（H20. 12～休床中）の廃止（H24. 1）
- ・人工透析設備の増設（8→14台）（H24）

<再編前>

名称		病床数
基幹病院	◎対馬いづはら病院	199
地域病院	○中対馬病院	139
	○上対馬病院	84
◎基幹病院1、○地域病院2		422



<再編後>

名称		病床数
基幹病院	◎対馬病院	275
地域病院	○上対馬病院	60
◎基幹病院1、○地域病院1		335

【吉岐地域】※参考

○吉岐市民病院とかたばる病院の統合 H25. 4

- ・精神科病床 20 床を廃止（H25. 3）

○吉岐市民病院の経営主体の統合 H27. 4

- ・経営の安定化を図るため、長崎県病院企業団（一部事務組合）に加入

<吉岐市再編前>

名称	病床数
吉岐市民病院	200
かたばる病院	48
市立病院2	248



<吉岐市再編後>

名称	病床数
吉岐市民病院	228
市立病院1	228



<病院企業団加入後>

名称		病床数
基幹病院	◎吉岐病院	228
◎基幹病院1		228

## 4 各地域の課題

### (1) 精神医療センター

#### ○精神科医療のあり方

平成 24 年、国の専門検討委員会において、「新規入院患者は、重度かつ慢性を除き、1 年以内に退院させる」など、一層の入院期間の短縮及び入院外医療を促進する方向性が打ち出されたほか、平成 26 年 7 月には、国の「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会」において、本人に対する支援や病院の構造改革について具体的方策の今後の方向性が取りまとめられ、精神科病院においても方策の具体化に取り組むこととなっています。

#### ○離島地域の精神科医療への支援

離島においては、精神科医師の確保が困難を極めていることから、医師の派遣など、離島の精神科医療維持のための支援や精神科医師確保の取組を継続していく必要があります。

#### ○「5 疾病」の時代に対応する先進的な精神科医療の提供

長崎県医療計画に定める 5 疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)のうち最も患者数が多い精神疾患については、アルツハイマー病などの認知症やうつ病などの気分(感情)障害患者が増加しており、今後、長崎県が進めていく認知症やうつ病など専門医療の必要な患者の状態に応じた医療提供体制の構築に協力するとともに、「5 疾病」の時代に対応する先進的な精神科医療の提供に努めることが求められます。

### (2) 島原病院

#### ○地域密着型・地域完結型医療の提供

県南医療圏の中核病院として、救急医療体制の充実を図るとともに、がんについての情報発信と質の高い医療提供の継続・強化、また、県、市、医師会等と連携した小児医療の安定的な提供を行うなど、地域に寄り添い、地域で完結できる医療体制の整備が必要です。

#### ○医療従事者の確保・人材育成

医療の継続性や診療の幅の拡大、診療レベルの向上を図るため、医療従事者の確保及び質の高い人材育成が必要です。

#### ○地域の医療機関との連携強化

地域の医療機関との連携を円滑にするため、ICT を活用するなど、双方向の情報交換を密にし、相互の役割分担や医療・介護連携を推進する必要があります。

### (3) 五島地域（五島中央病院、奈留医療センター、富江病院）

#### ○人口減少、少子・高齢化等による地域環境の変化を踏まえた医療の提供

人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しており、患者の医療ニーズも変化してきていることから、地域の医療における自院の役割を明確にし、地域の医療機関、介護施設や行政等との一層の連携強化を図り、将来を見据えた医療提供体制を構築することが必要です。

#### ○看護師等医療従事者の確保

医療従事者の確保は引き続き厳しい状況が続いており、今後の退職予定者数の見込みを踏まえ、計画的な確保に努めるとともに、地域病院や附属診療所では確保が難しいため、採用・配置の基幹病院への一本化についても検討する必要があります。

#### ○経営の健全化

今後、基幹病院では施設改修、医療機器更新が集中し、資金収支の悪化が見込まれており、資本的支出の増加は減価償却費を増加させ、経常収支を悪化させるため、収益確保や経費節減など経営の健全化に努める必要があります。特に、附属診療所においては、患者数に見合った職員の配置を検討していく必要があります。

### (4) 上五島地域（上五島病院、有川医療センター、奈良尾医療センター）

#### ○医師等医療従事者の確保、医療水準の維持・向上

医療従事者の計画的な確保、人材の育成に努めるとともに、今後、新専門医制度による研修が開始されることから、新専門医プログラムの連携施設として指導医の育成等研修医を受入れる体制づくりが必要です。

#### ○人口減少、少子・高齢化等による地域環境の変化を踏まえた医療の提供

人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しており、住民の半数近くが島外の医療機関で受診しているという状況も考慮し、将来を見据えた医療提供体制の構築を図る必要があります。当地区の高齢化率の水準は高く、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が急務であり、併せて基幹病院の療養病床のあり方についても検討が必要です。また、分娩数が減少する中で、住民が安心して出産できる周産期医療体制を整備・維持していく必要があります。

#### ○病病・病診連携の強化

平成28年度から心臓カテーテル手術が可能になりましたが、脳血管障害や異常分娩など高度な医療を必要とする患者は本土の専門機関へ紹介しています。長崎県下では「あじさいネット」の普及により、これを利用した情報共有が進んでおり、更なる病病間、院外の調剤薬局を含めた病診間の連携が必要です。

## (5) 対馬地域（対馬病院、上対馬病院）

### ○人口減少、少子・高齢化等の地域環境の変化を踏まえた医療の提供

人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行する中、患者の島外流出も拡大していることから、基幹病院における医療の質の向上や病診連携、医療・介護連携の一層の強化を図り、島内完結型の医療提供体制を構築するとともに、特に人口減少が著しい北部地区の上対馬病院においては、病床機能のあり方についての検討が必要です。

### ○医師等医療従事者の確保

島の面積が広く、集落が離れて点在しているため、地域で総合医療を担う医師の確保に努めるとともに、看護師をはじめとする医療従事者の高齢化等を踏まえ、医療技術修学資金貸与制度等により、計画的な確保を図る必要があります。

### ○経営の健全化

平成27年5月に開院した対馬病院への多額の建設投資により、対馬地域の経営状況は当面、厳しい状況が続くことが予想され、地域で求められる医療の質の維持・向上を図りつつ、収益確保や経費節減など経営の健全化に取り組む必要があります。

## (6) 壱岐病院

### ○医師等医療従事者の確保・人材育成

診療体制の充実・経営の安定化に向けて、特に不足する常勤医師や看護師をはじめとする医療従事者を計画的に確保するとともに、将来の地域医療を担う若い医師を育成する体制の整備や職員研修の充実などを図り、医療技術者の人材育成に取り組む必要があります。

### ○人口減少、少子・高齢化等の地域環境の変化を踏まえた医療の提供

人口減少や少子・高齢化の急速な進行、島外への患者流出など、今後の医療需要等を見極め、可能な限り島内で完結できる医療提供体制の充実を図るとともに、適正な病棟体制・病床数などの診療体制見直しの検討が必要です。

### ○医療・介護等連携と経営健全化の推進

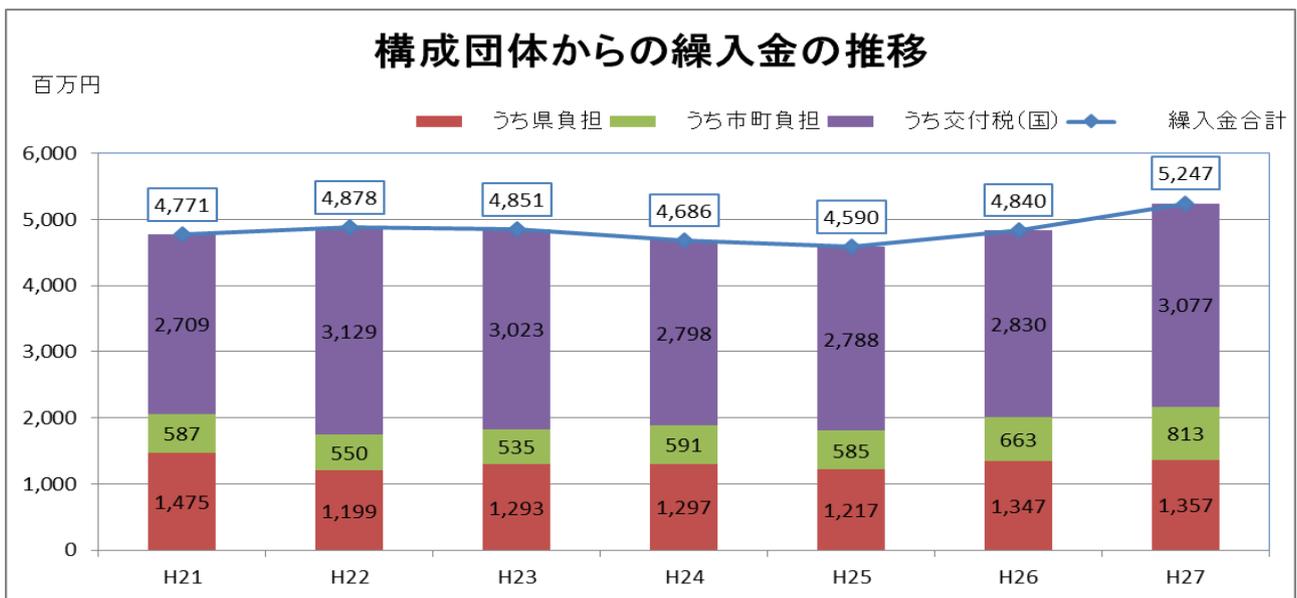
壱岐医療圏の中核病院として、質の高い医療を安定的かつ継続的に提供していくため、島内外の医療機関や介護施設等とも連携を図りながら、急性期から回復期の患者受入体制を強化し、経営を健全化する必要があります。

## 5 構成団体負担（繰入金）の考え方

○地方公営企業である病院事業は独立採算制が基本原則ですが、公立病院として保健衛生行政への協力や、地域住民の医療を確保するため不採算であっても医療を提供することが求められます。

○このため、当病院企業団においては、地方公営企業法や毎年度総務省から通知される「繰出基準」の基本的な考え方を基にし、採算が困難な分野や高額な医療機器の購入等に対して、「長崎県病院企業団構成団体負担要綱」で負担ルールを定め、構成団体から適切な負担を受けています。

○構成団体からの繰入金の推移をみると、近年はほぼ横ばいとなっていますが、今後、高度医療機器等が更新時期を迎えることや施設の老朽化等による改修等の増加（繰入金が増加）も想定されるため、医療機器等の計画的な整備や補助金等の活用、共同事業の更なる推進等の経営の効率化を進め、構成団体の負担軽減に努めます。



### <構成団体からの繰入金(負担金)の推移>

(単位:百万円)

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
繰入金合計	4,771	4,878	4,851	4,686	4,590	4,840	5,247
うち県(実質負担)①	1,475	1,199	1,293	1,297	1,217	1,347	1,357
うち市町(実質負担)②	587	550	535	591	585	663	813
うち交付税(国)	2,709	3,129	3,023	2,798	2,788	2,830	3,077
県交付分③	846	901	921	813	815	874	798
市町交付分④	1,863	2,228	2,102	1,985	1,973	1,956	2,279
県決算(繰出)額①+③	2,321	2,100	2,214	2,110	2,032	2,221	2,155
構成市町決算(繰出)額計②+④	2,450	2,778	2,637	2,576	2,558	2,619	3,092
構成団体実質負担①+②	2,062	1,749	1,828	1,888	1,802	2,010	2,170

※平成27年度は、杵岐病院加入による増。

## Ⅳ 第2次中期経営計画の基本的な考え方

### 1 策定趣旨

- 当病院企業団が医療を担う地域において、今後とも継続的で安定的な医療の確保・維持を図るためには、厳しさを増す地域医療を取り巻く環境の変化に的確に対応し、長崎県が策定した「地域医療構想」との整合性を図りつつ、将来を見据えた医療提供体制の構築や経営基盤の確立を図る必要があります。
- そのため、企業団病院の果たすべき役割や目的を踏まえ、平成27年3月に策定された「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、平成32年度までの今後4カ年の取組を明確化した計画（経営の方向性）を策定するものです。

### 2 計画の位置づけ

- 本計画は、当病院企業団としての今後の経営方針に関する計画であり、職員一人ひとりが中期的な視点に立って、それぞれの地域・病院が抱える課題に取り組むための目標、指針となるものです。
- また、平成24年3月に策定した「中期経営計画」の期間満了による継続計画とするとともに、「新公立病院改革ガイドライン」に基づく、「新たな公立病院改革プラン」に位置づけるものです。

### 3 計画期間

- 平成29年度から平成32年度までの4年間の計画とします。

## Ⅴ 第2次中期経営計画の取組方針

第2次中期経営計画期間中（H29～32）の取組方針として、次のとおり定めます。

- 地域医療構想における地域での果たすべき役割に沿った医療機能の充実
- 地域包括ケアシステム構築に向けた関係機関との連携強化
- 著しい人口減少、急激な少子・高齢化を踏まえた医療提供体制の最適化
- 県、長崎大学、長崎医療センター等との連携等による医師等医療従事者の確保
- 安定した経営基盤の確立
- 医療の質の向上を目的に活力ある組織体制の構築

## VI 長崎県病院企業団全体の取り組み

### 1 「長崎県医療計画」、「地域医療構想」等に基づく医療提供体制の整備

- 当病院企業団病院は、県の精神科医療及び県周辺部の地域・離島医療を担う中核病院として、構成団体の医療担当部局とも十分な連携を図りながら、「長崎県医療計画」に基づく政策医療の推進等に取り組みます。
- 特に、県医療計画の医療提供体制構築に関する基本的な考え方に掲げられている「医療連携体制の構築」、「医療機関の機能分担と連携」、「保健、福祉（介護）との連携」、「県民の理解と協力を得るための情報の発信」の項目については、重点的に取り組むこととし、公立病院としての役割や使命を果たしていきます。
- また、「地域医療構想」では、2025年を見据えて、回復期病床の充実や在宅医療等の体制整備が求められており、地域に必要な病床機能への見直しなど医療提供体制の充実や医療・介護の連携強化などによる地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みます。

### 2 医師・看護師等医療従事者確保対策

- 医師確保については、県養成医制度と長崎大学からの派遣が中心となりますが、県の施策との連携を図りながら、引き続き、長崎大学、長崎医療センター及び長崎大学以外の大学への医師派遣要請、ホームページへの医師募集掲載、民間医師求人サイトへの登録などの取り組みを進めます。
- 看護師確保については、NPO法人ジャパンハートとの協定締結による派遣やアイランドナースネットワーク事業による派遣拡充、診療看護師の採用など、その取組を強化してきたところでありますが、引き続き、医療技術修学資金貸与制度による養成や認定看護師育成研修費貸与制度、離島枠の設定による採用派遣（本土病院の看護師募集に設定）、募集体制の充実（試験回数、広報活動、都市部での試験開催）などの取り組みを進めます。
- 薬剤師など、その他の医療従事者については、特に離島においては確保が難しくなっており、医療技術修学資金貸与制度の活用などにより、引き続き確保に努めます。

### 3 地域外患者流出の抑制対策

- 著しい人口減少や急速な少子・高齢化、患者ニーズの変化等により、患者数の減少傾向が続くなど、病院経営を取り巻く環境は大変厳しいものとなっています。
- こうした患者数減少の状況に歯止めをかけ、地域に必要なとされる医療の質の維持・向上を図るため、“郷診郷創”<sup>きょうしんきょうそう</sup>をスローガンに行政と協働して地域外患者流出の抑制に努めます。

#### 4 効率的・効果的な運営体制の確立

○基幹病院を中心とした医療提供体制を構築し、契約事務等の共同処理や情報の共有化を推進し、効率的で効果的な運営体制の確立を目指します。

#### 5 職員の意識改革と経営感覚に富む人材の確保・育成

○地域において必要な公立病院として、良質な医療提供と安定した経営との両立を、継続的に図っていく必要があり、職員一人ひとりが病院職員としての高い専門性と経営感覚を持ち、また、同じ目的意識を共有すべく一体感の醸成を図り、地域住民に信頼される病院づくりに努めるよう意識改革を進めていきます。

○医師をはじめ看護師、薬剤師等の医療従事者の確保が困難な状況が続く中で、職員が働きやすい環境づくりに努めるとともに、高い専門性や高度の技術を有する人材を育成するため、引き続き、職員研修等の充実強化を図り、魅力ある職場づくりに取り組みます。

○医療経営においては、医療環境の急激な変化などから、専門知識がますます必要になっていることを踏まえ、外部人材の活用、プロパー専門職の採用、専門的なスキルをもった事務職員の計画的な育成などを推進します。

#### 6 共同事業

○企業団としてのスケールメリットを活かした共同事業については、医薬品、検査試薬・検査外注、診療材料、エレベーター保守点検、複写サービス等について実施しています。

○今後は、医療機器の保守管理についての共同契約を検討するなど、更なる経費節減に努めるとともに、その他の分野においても、より効果的な手法がないか検討します。

#### 7 後発医薬品の使用促進

○後発医薬品の使用については、国の方針や今後予定している離島の基幹病院へのDPC導入に対応し、平成30年度までに、数量ベース80%を目指します。

#### 8 計画的な医療機器等の整備

○電子カルテシステムは、診療効率の向上、医師等医療従事者の労働環境改善の面から有用であり、基幹病院や離島の地域病院においても導入し運用しているところですが、その整備には多額の費用を要するため、今後予定されるシステムの更新にあたっては、平準化を図りながら計画的な整備に努めます。

○CT・MRI等の高度医療機器については、地域における基幹病院・へき地医療拠点病院として、地域に求められる良質で高度な医療提供を図る上で、その整備は欠かせないものですが、費用対効果の検討など、経営面との兼ね合いも図りながら計画的な整備に努めます。

## 9 構成団体負担金のあり方

○長崎県病院企業団構成団体負担要綱は、地方公営企業法に基づく負担金と一部事務組合の本部機能等に対する負担金に大きく区分されます。

○地方公営企業法に基づく負担金は、病院の経営に対し一般会計が負担する経費及び補助することができる経費で、本土と離島の病院の置かれている経営環境の違いから異なる負担要綱を定めていますが、地方公共団体に対する特別交付税措置の見直しによる影響を受けないよう、構成団体とも協議のうえ、一部、離島医療の固有の安定確保を図るために必要な増嵩経費等を除き負担要綱を統一し、国の繰出し基準に沿った算定方法への見直しを検討します。

○また、本部機能として必要な経費は、各病院の負担としていますが、一部事務組合の連合体として共同で担う組織の運営に要する経費（議会、監査等）については、県と市町が全額負担することとしています。

## 10 再編・ネットワーク化

○当病院企業団では、「病院改革プラン」や「中期経営計画」に基づき、病院再編等に取り組んできましたが、将来の医療需要等も踏まえ、「長崎県地域医療構想」との整合性を図りつつ、地域に必要な病床機能・病床数の見直しなど、更なる再編・ネットワーク化について検討することとし、その内容を各病院の取り組みの中に盛り込みます。

## 11 経営形態の見直し

○当病院企業団は、発足時から地方公営企業法の全部適用により運営しています。構成団体である長崎県及び7市町から独立した特別地方公共団体であり、高い自律性が確保されているため、現在の経営形態を継続することとします。

## VII 各地域及び病院における取り組み

### 1 精神医療センターの取組方針

- 精神科第3次救急医療機関としての機能向上、地域の医療機関等との連携強化、離島地域の精神科医療維持のための支援強化など、長崎県精神科医療の中核を担う拠点病院としての機能充実に努めます。
- 精神科急性期患者に24時間・365日対応する「精神科救急医療センター」の継続、児童・思春期精神科医療の充実及び医療観察法病棟の適正な運営並びにECTセンターにおける修正型電気けいれん療法による難治性のうつ病患者に対する先進的な精神科医療の取り組みなど、民間医療機関では対応困難な専門医療の提供に努めます。
- 効率的な病院運営体制づくりに努め、収入増加・確保対策と経費削減・抑制対策を進めることにより経営基盤を強化し、さらなる収支の改善を目指します。

### 精神医療センターの取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 長崎県精神科医療の拠点病院として、精神科救急医療、児童・思春期精神科医療及び司法精神医療など民間医療機関では対応困難な医療を提供
- 精神科第3次救急医療機関として、24時間・365日体制で精神科急性期患者を受け入れ
- 精神科医師の離島地区への派遣支援

##### (2) 医療機能等指標に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	204	202	207	212	217	223	228	
臨床研修医の受入件数(件)	5	2	2	2	2	2	2	
医師派遣等件数(件)	330	251	264	258	261	259	260	
紹介率(%)	37.6	32.4	35.0	35.0	34.1	34.7	34.6	
逆紹介率(%)	44.0	41.9	47.6	44.5	44.7	45.6	44.9	
訪問診療・看護件数(件)	766	728	810	768	769	782	773	
在宅復帰率(%)	86.1	83.8	81.9	83.9	83.2	83	83.4	
リハビリ件数(件)	6,822	6,072	6,571	6,488	6,529	6,529	6,516	
クリニカルパス件数(件)	328	365	347	356	351	353	352	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	75.1	77.7	79.7	80.5	81.2	82	82.8	
健康・医療相談件数(件)	95	93	94	94	94	94	94	

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの	26年度 実	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	116.4	108.0	106.8	111.0	110.8	110.9	110.3	
医業収支比率(%)	86.5	82.3	83.2	85.9	86.0	86.6	86.2	
修正医業収支比率(%)	90.0	86.0	87.3	90.6	90.6	90.9	90.7	
② 経費削減に係るもの	26年度 実	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	10.8	11.6	12.1	10.8	10.8	10.8	10.8	
委託費対医業収益比率(%)	8.3	8.6	8.4	8.2	8.2	8.1	8.0	
職員給与対医業収益比率(%)	80.1	84.0	83.6	81.5	81.6	81.5	81.8	
減価償却費対医業収益比率(%)	7.7	7.9	7.7	7.9	7.7	7.4	7.5	
後発医薬品の使用割合(%)	8.5	8.3	10.7	11.8	13.5	14.9	16.5	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	339	331	343	365	377	389	401	
1日当たり入院患者数(人)	116.0	109.4	106.8	109.4	110.4	111.4	112.4	
1日当たり外来患者数(人)	55.6	54.9	54.0	52.2	51.3	50.5	49.8	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	28,356	27,835	30,118	30,113	30,129	30,145	30,161	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	15,123	15,730	15,946	16,066	16,468	16,879	17,301	
病床利用率(%) <精神>	83.4	78.7	76.9	78.7	79.4	80.1	80.9	
平均在院日数(日) <精神>	121.3	119.4	112.5	108.4	105.9	103.8	101.3	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	10	11	10	11	11	11	11	
現金保有残高(千円)	172,290	377,824	384,532	364,196	360,499	366,045	347,558	
企業債残高(千円)	238,129	246,661	225,086	203,327	180,568	158,345	136,178	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

○長崎県精神科医療の拠点病院としての役割を果たすため、経営の効率化を図りながら、現状の経常収支黒字を維持します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ①収入増加・確保対策

- ◇入院初期から退院に向けた社会生活行為向上を目的としたプログラムの実施
- ◇児童・思春期の患者に対する通院・在宅精神療法の実施
- ◇医師及び看護師による認知療法・認知行動療法の実施
- ◇患者サポート体制充実加算の取得
- ◇感染防止対策加算の取得
- ◇看護学生の実習受け入れ拡大

◇未収金対策の取り組み強化

**②経費削減・抑制対策**

◇非常勤職員や臨時職員の活用など、状況に応じた人員の適正な配置

◇医薬品等の共同購入や後発医薬品の使用促進による材料費の節減

◇節電対策や施設の効率的な維持管理などの経費の節減

**③その他**

◇職員の病院経営に参画する意識の醸成

◇離島地域の病院・診療所への診療応援

◇入院患者及び家族等の入院時の負担軽減のため、患者に係る窓口の一元化

## 2 島原病院の取組方針

- 地域の医療・介護との機能分担と連携強化を推進し、地域完結型医療体制を目指します。
- 地域の中核病院として、救急医療、がん医療、脳卒中医療をはじめとした病院機能のさらなる充実を図ります。
- 医療従事者の確保や人材育成を行うとともに、院内の多職種によるチーム医療を推進することにより、質の高い医療の提供を目指します。
- 公立病院として、安定した健全な病院経営を目指します。
- 院内保育所の運営など、勤務環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりに努めます。

### 島原病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 県南医療圏の中核病院として、2次救急医療を担うほか、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、高次脳卒中センター、災害医療及び感染症医療など、高度専門的な医療を提供
- 「島原メディカル・ケアねっと」と「あじさいネット」との連携を図るなど、地域の医療機関や介護・福祉施設との情報交換を密にし、相互の役割分担や医療・介護連携を推進し、地域完結型医療体制を構築
- 臨床研修病院として、研修医や医学生等を積極的に受入れ、地域医療を担う人材を育成

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 地域包括ケア病棟を効果的（積極的）に活用しながら、地域の各医療機関や介護・福祉施設との役割分担や連携強化を推進し、地域の特性に応じたシステム構築に寄与

##### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	6,072	5,685	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	
手術件数(件)	1,516	1,166	1,277	1,444	1,444	1,444	1,444	
臨床研修医の受入件数(件)	2	3	1	1	4	6	6	
医師派遣等件数(件)	32	37	34	36	36	36	36	
紹介率(%)	70.8	71.0	72.0	72.0	72.0	72.0	72.0	
逆紹介率(%)	66.4	71.8	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
在宅復帰率(%)	87.1	89.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
リハビリ件数(件)	64,904	70,431	74,269	77,562	79,352	81,141	82,931	
クリニカルパス件数(件)	1,991	1,453	1,675	1,840	2,000	2,000	2,000	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	-	-	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
健康・医療相談件数(件)	1,925	1,645	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	

#### (4) 住民の理解を得るための取組

- 市民公開講座、地域連携セミナー、健康フェスタ等各種イベントやHP、情報誌、TV等各種メディアを活用した情報発信を積極的に推進
- 病院運営協議会の開催により、医療機能や経営状況等を地域へ発信するとともに、地域の意見を幅広く取り入れて、地域が必要とする医療を提供

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	102.6	98.0	94.0	101.4	101.5	100.7	100.0	
医業収支比率(%)	98.8	94.4	91.6	98.2	98.5	97.8	97.2	
修正医業収支比率(%)	108.9	104.5	101.2	109.7	108.0	108.4	107.6	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	23.1	24.6	25.6	26.3	26.3	26.4	26.4	
委託費対医業収益比率(%)	7.9	7.9	8.7	7.7	8.0	8.1	8.3	
職員給与費対医業収益比率(%)	50.4	54.0	56.1	50.5	51.0	50.9	51.1	
減価償却費対医業収益比率(%)	11.1	10.2	10.5	10.2	8.5	9.6	9.6	
後発医薬品の使用割合(%)	84.9	90.6	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	4,722	4,246	4,552	4,882	4,882	4,894	4,882	
1日当たり入院患者数(人)	205.2	194.7	192.4	209.9	209.9	209.9	209.9	
1日当たり外来患者数(人)	289.5	249.3	242.3	271.0	271.0	271.0	271.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	48,748	50,243	50,561	51,817	51,817	51,817	51,817	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	16,867	18,497	19,269	19,912	19,912	19,912	19,912	
病床利用率(%) <一般>	80.8	76.6	75.7	82.6	82.6	82.4	82.6	
平均在院日数(日) <一般>	15.2	15.8	14.0	15.6	15.6	15.6	15.6	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	29	28	29	29	29	29	29	
現金保有残高(千円)	937,619	1,093,623	1,289,814	1,652,295	1,959,706	2,358,136	2,713,797	
企業債残高(千円)	6,270,475	5,963,352	6,002,662	6,130,469	6,514,633	6,114,580	5,568,029	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 地域の中核病院として、救急・がん・脳卒中医療をはじめとした病院機能のさらなる充実を図り、患者確保に努め、経常収支黒字化とその維持を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ①収入増加・確保対策

- ◇栄養管理料の取り漏れ防止
- ◇輸血後感染症検査実施率の向上
- ◇365日早期リハビリテーション実施、リハビリテーション総合実施計画の算定率向上
- ◇病棟薬剤業務の充実（病棟薬剤業務実施加算取得、服薬指導）
- ◇在宅退院支援の強化
- ◇緩和ケアセンター設置、精神腫瘍科医師確保
- ◇未収金対策の推進

#### ②経費削減・抑制対策

- ◇放射線装置の採算性を重視した適正配置
- ◇電球のLED化など省エネ設備への転換等を進め、光熱費を節減
- ◇診療材料費の削減とSPD（物品物流管理）の導入
- ◇医療機器保守の共同契約による経費削減

#### ③その他

- ◇がん薬物療法、感染制御認定薬剤師の育成
- ◇地域完結型診療体制の確立
- ◇5大がん地域連携パスの使用促進
- ◇地域包括ケア病棟の役割を果たすための人材育成
- ◇接遇の向上、待ち時間対策、医療相談体制の充実などによる患者サービスの向上

### 3 五島地域の取組方針

- 病床機能の転換など地域の医療ニーズに合った医療提供体制の見直しを図ります。
- 今後の医療需要等を見極め、病棟体制・病床数の見直しを検討するとともに、地域包括ケアシステム構築に向けて、島内の医療ネットワークの充実に努めます。
- 医療技術修学資金貸付制度の活用や職員採用・配置の五島中央病院への一本化など医療従事者の確保に努めます。
- 計画的な施設改修、医療機器の購入、職員配置数の適正化など経営健全化の推進を図ります。
- 院内保育所の運営など、勤務環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりに努めます。

#### 五島中央病院（附属診療所奈留医療センター含む）の取組

##### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

###### (1) 病院の果たすべき役割

- 五島医療圏の中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療を提供
- 回復期を担う病床が少ないため、適切な回復期機能が提供できる体制を構築（地域域包括ケア病棟の導入）
- 後方支援病院、診療所、施設等との連携の構築
- 地域医療連携室充実による地域の医療・介護との連携強化、在宅支援
- 臨床研修病院として、研修医や医学生等を積極的に受入れ、地域医療を担う人材を育成
- 地域の診療所として、一次救急を担うとともに、訪問診察・看護・リハ等を計画的に実施（奈留）

###### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 市、医師会、他医療機関、介護施設等との連携強化
- 地域医療連携室が中心となり、地域の医療機関、介護事業所等の多職種が集う連携の場、研修の機会を設定
- 地域医療連携室職員への職種間コミュニケーションやスキルアップを目的とした教育支援
- 患者にかかわる多職種が迅速に情報を共有するため、当院が中心となり地域の医療機関、介護事業所等との情報共有ネットワーク（あじさいネット）による連携を推進
- 五島市の「地域調剤情報共有システム」の利用推進

(3) 医療機能等指標に係る数値目標

【五島中央病院】

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	7,314	6,606	6,588	6,588	6,588	6,606	6,588	
手術件数(件)	1,345	1,276	1,273	1,273	1,273	1,276	1,273	
臨床研修医の受入件数(件)	4	4	4	4	4	4	4	
医師派遣等件数(件)	109	106	106	106	106	106	106	
紹介率(%)	24.4	27.0	26.9	31.0	31.0	31.0	31.0	
逆紹介率(%)	34.6	34.1	34.0	33.7	33.7	33.7	33.7	
在宅復帰率(%)	94.8	93.8	93.8	93.8	93.8	93.8	93.8	
リハビリ件数(件)	19,650	19,430	19,430	25,907	35,622	35,622	35,622	
分娩件数(件)	173	156	156	156	156	156	156	
クリニカルパス件数(件)	661	518	518	518	518	518	518	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	81.7	82.7	83.7	84.7	85.8	86.8	87.9	
健康・医療相談件数(件)	5,312	5,515	5,515	5,659	5,659	5,659	5,659	

【奈留医療センター】

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	771	646	632	694	694	697	694	
臨床研修医の受入件数(件)	10	10	9	10	10	10	10	
訪問診療・看護件数(件)	111	133	156	156	156	156	156	
リハビリ件数(件)	2,031	1,836	1,799	1,977	1,977	1,984	1,977	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	-	-	60.0	70.0	80.0	90.0	90.0	
健康・医療相談件数(件)	1,539	1,823	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	

(4) 住民の理解を得るための取組

- 高齢化が進む中で、行政・介護・福祉との連携、在宅医療の支援
- 病院運営協議会、ホームページ、情報誌等を活用した医療機能や経営状況等の地域への積極的な情報発信と地域住民活動への参加

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

#### 【五島中央病院】

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	103.3	100.1	95.6	102.5	103.8	102.8	102.6	
医業収支比率(%)	86.5	84.4	79.4	84.7	86.1	86.4	85.6	
修正医業収支比率(%)	96.4	93.7	89.6	95.0	97.1	96.1	96.5	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	26.1	26.2	25.7	25.3	24.9	24.8	24.8	
委託費対医業収益比率(%)	10.0	10.6	11.8	11.5	11.3	11.4	11.5	
職員給与対医業収益比率(%)	58.3	60.0	64.4	59.2	59.1	58.8	59.7	
減価償却費対医業収益比率(%)	10.5	11.4	13.0	11.5	10.9	9.8	11.0	
後発医薬品の使用割合(%)	27.2	45.1	60.0	70.0	80.0	80.0	80.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	3,840	3,596	3,626	3,595	3,595	3,602	3,595	
1日当たり入院患者数(人)	208.8	205.0	196.0	217.6	217.6	217.5	217.6	
1日当たり外来患者数(人)	597.8	608.6	595.8	608.6	616.2	616.2	616.2	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	33,898	33,283	32,432	34,174	35,127	35,126	35,127	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	8,681	8,492	8,610	8,505	8,613	8,613	8,613	
病床利用率(%) <一般>	73.4	73.2	70.5	78.4	78.4	78.4	78.4	
平均在院日数(日) <一般>	16.7	17.6	17.0	18.9	18.9	18.9	18.9	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	34	32	32	32	32	32	32	
現金保有残高(千円)	1,799,576	1,761,475	1,639,539	1,989,240	2,393,694	2,726,917	3,033,793	
企業債残高(千円)	6,885,138	6,844,128	6,519,186	6,201,367	5,889,126	608,331	5,859,743	

#### 【奈留医療センター】

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	79.3	70.2	82.1	89.6	91.0	94.8	93.7	
医業収支比率(%)	59.1	46.1	53.3	58.8	59.7	62.8	62.9	
修正医業収支比率(%)	56.4	52.6	59.1	66.3	67.7	69.8	70.2	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	15.0	14.2	20.5	16.5	16.5	16.4	16.5	
委託費対医業収益比率(%)	6.9	9.4	8.8	8.9	8.9	8.8	8.9	
職員給与対医業収益比率(%)	111.6	143.0	126.1	116.1	113.4	105.8	104.9	
減価償却費対医業収益比率(%)	12.4	13.5	15.4	12.5	12.9	11.5	11.6	
後発医薬品の使用割合(%)	11.4	25.3	26.2	40.1	54.0	67.9	67.9	

③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	269	248	209	293	292	293	292	
1日当たり入院患者数(人)	15.2	12.1	12.9	16.0	16.0	16.0	16.0	
1日当たり外来患者数(人)	69.9	64.5	62.5	65.0	65.0	65.0	65.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	15,435	15,889	15,358	16,500	16,500	16,500	16,500	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	5,981	6,164	6,876	6,900	6,900	6,900	6,900	
病床利用率(%) <一般>	80.1	63.7	67.7	84.2	84.2	84.2	84.2	
平均在院日数(日) <一般>	19.4	16.9	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	2	2	2	2	2	2	2	
現金保有残高(千円)	46,826	55,062	△ 65,938	△ 100,938	△ 127,938	△ 139,938	△ 150,938	△分は基幹 病院から借入
企業債残高(千円)	170,587	179,593	160,726	146,985	134,167	120,963	121,944	

## (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

○基幹病院と附属診療所、地域病院の役割・機能分担を図りながら、一体的な運営に努め、五島地域全体での経常収支黒字の維持を目指します。

## (3) 目標達成に向けた主な取組

### ①民間の経営手法の導入

◇DPC民間病院との経営比較による経営の効率化

### ②事業規模・事業形態の見直し

◇DPC導入による医療の質の向上

◇地域のニーズに合った医療を提供するため、地域包括ケア病棟を導入（病棟再編）

### ③収入増加・確保対策

◇遊休固定資産の早期売却

◇地域包括ケア病棟などの診療報酬施設基準取得及び査定減対策の強化

◇骨密度の検査方法の変更による収益増加

◇未収金対策の推進

### ④経費削減・抑制対策

◇後発医薬品の採用・使用促進

◇職員配置数の見直し

◇医療機器等の保守契約の見直し

◇臨床工学士を活用し、医療機器の修繕費の削減

### ⑤その他

◇看護師の確保対策

◇がん化学療法、緩和ケア、感染管理等の認定看護師の育成

◇接遇の向上、待ち時間対策、医療相談体制の充実などによる患者サービスの向上

### 3 再編・ネットワーク化

#### (1) 二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

○公立病院 2、民間病院 2、公立診療所 2、民間診療所 8

#### (2) 再編・ネットワーク化計画

○計画期間中に、五島中央病院の急性期病床を回復期病床へ機能転換するとともに、人口や患者数の推移など医療需要等を見極めて、病棟体制・病床数のあり方や奈留医療センターのあり方など関係機関と協議し、検討していきます。

### 富江病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 富江地区における地域病院として、救急医療にも対応するとともに、慢性期、回復期を中心とした医療を提供
- 老健施設や在宅への医師・看護師を派遣し、各施設との連携を強化

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 地域の中核病院と連携した在宅医療システムの構築
- 転院患者の受け入れ及び在宅への移行後の支援

##### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	777	721	700	700	700	700	700	
手術件数(件)	-	87	50	50	50	50	50	
臨床研修医の受入件数(件)	9	15	20	20	20	20	20	
紹介率(%)	0.2	15.6	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
逆紹介率(%)	-	4.4	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
訪問診療・看護件数(件)	121	274	300	350	350	350	350	
リハビリ件数(件)	3,871	4,270	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	-	-	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
健康・医療相談件数(件)	1,576	2,223	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	

#### (4) 住民の理解を得るための取組

- 広報誌の充実、ホームページの開設
- 住民に向けた講座の開設、住民と一体となったイベントの開催

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	106.6	110.6	111.3	97.9	96.8	96.2	93.1	
医業収支比率(%)	86.6	91.0	91.5	87.8	86.4	86.3	85.8	
修正医業収支比率(%)	88.1	93.0	90.7	91.2	90.6	90.5	89.9	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	16.1	14.5	16.0	15.6	15.6	15.5	15.6	
委託費対医業収益比率(%)	9.3	7.5	4.9	6.1	6.5	6.5	6.5	
職員給与費対医業収益比率(%)	72.5	70.6	72.0	72.9	73.4	73.4	74.2	
減価償却費対医業収益比率(%)	5.0	4.7	4.9	7.0	8.2	8.2	8.2	
後発医薬品の使用割合(%)	23.6	19.1	20.0	30.0	30.0	40.0	40.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	622	618	627	600	600	600	600	
1日当たり入院患者数(人)	53.0	53.6	51.9	52.0	52.0	52.0	52.0	
1日当たり外来患者数(人)	69.8	71.7	62.7	80.0	80.0	80.0	80.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	19,899	20,841	20,883	22,000	22,000	22,000	22,000	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	7,135	6,676	7,025	7,300	7,300	7,300	7,300	
病床利用率(%) <一般>	96.3	97.5	94.3	94.5	94.5	94.5	94.5	
平均在院日数(日) <一般>	31.5	30.6	29.5	31.0	32.0	32.0	32.0	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	3	3	2	2	2	2	2	
現金保有残高(千円)	309,511	420,080	378,684	314,047	289,280	310,791	325,226	
企業債残高(千円)	299,340	166,310	178,890	192,470	112,000	76,000	40,000	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 基幹病院と附属診療所、地域病院の役割・機能分担を図りながら、一体的な運営に努め、五島地域全体での経常収支黒字の維持を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ① 民間的経営手法の導入

◇SPD(物品物流管理)の導入

#### ② 事業規模・事業形態の見直し

◇地域における介護施設の状況をみながら地域包括ケア病床への転換を検討

### ③収入増加・確保対策

◇診療報酬施設基準の取得・維持

◇医事業務の委託化の検討など、診療報酬請求の適正化（請求漏れ対策）

◇健康診断の増加対策による外来受診率の向上

### ④経費削減・抑制対策

◇後発医薬品の使用促進

◇高額医療機器共同購入

◇委託契約共同契約

◇ボランティアスタッフの募集

### ⑤その他

◇電子カルテ導入による患者サービスの向上と医療スタッフの負担軽減

## 3 再編・ネットワーク化

### （１）二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

○公立病院 2、民間病院 2、公立診療所 2、民間診療所 8

### （２）再編・ネットワーク化計画

○今後の病床数や病床機能のあり方については、本計画期間中の人口や患者数の推移など医療需要等を見極めて検討します。

## 4 上五島地域の取組方針

- 地域の医療ニーズに合った病床機能への転換を行うとともに、基幹病院と附属診療所のそれぞれの医療機能の特徴を活かし、地域に信頼される安定的でより良い医療を提供します。
- 医療技術修学資金貸付制度を活用した医療従事者の計画的な確保と高度な専門知識・技術を有する人材の育成に努めます。
- 患者のニーズを汲み取り、患者の目線に立ったサービスの向上に取り組みます。
- 計画的な施設改修、医療機器の購入など医療財政の安定化を図ります。

### 上五島病院(附属診療所有川医療センター、附属診療所奈良尾医療センター含む)の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療を提供
- 回復期を担う病床が少ないため、適切な回復期機能が提供できる体制を構築(地域包括ケア病床への再編)
- 後方支援病院、附属診療所、関係施設等との連携の構築
- 地域医療連携室を中心とした在宅医療の強化
- 臨床研修病院として、研修医や医学生等を積極的に受入れ、地域医療を担う人材を育成
- 地域に密着した外来診療の展開及び外来透析センターとして、透析医療を提供(有川)
- 地域の診療所として、計画的な訪問診療及び健診等による住民の健康管理(奈良尾)

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 行政、他医療機関、介護施設等との連携体制の構築
- 他医療機関・介護福祉施設及び地域住民からの相談業務
- 現状分析及び介護ニーズの把握及び情報発信
- 多職種間のコミュニケーションやスキルアップを目的とした教育支援

(3) 医療機能等指標に係る数値目標

【上五島病院】

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 画計	30年度 画計	31年度 画計	32年度 画計	備考
救急患者数(人)	5,657	5,494	5,422	5,422	5,422	5,437	5,422	
手術件数(件)	756	735	672	672	672	672	672	
臨床研修医の受入件数(件)	5	3	1	1	1	1	1	
医師派遣等件数(件)	12	12	12	12	12	12	12	
紹介率(%)	16.0	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	
逆紹介率(%)	7.9	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	
訪問診療・看護件数(件)	2,880	2,892	3,184	3,184	3,184	3,184	3,184	
在宅復帰率(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
リハビリ件数(件)	36,219	36,071	35,895	35,895	35,895	35,895	35,895	
分娩件数(件)	122	100	106	101	96	91	87	
クリニカルパス件数(件)	22	22	22	30	50	50	50	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 画計	30年度 画計	31年度 画計	32年度 画計	備考
患者満足度(%)	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2	85.2	
健康・医療相談件数(件)	9,554	12,570	12,570	12,570	12,570	12,570	12,570	

【有川医療センター】

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 画計	30年度 画計	31年度 画計	32年度 画計	備考
医師派遣等件数(件)	131	162	162	162	162	162	162	
紹介率(%)	1.8	1.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
逆紹介率(%)	4.7	5.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
訪問診療・看護件数(件)	3	28	30	30	30	30	30	
リハビリ件数(件)	2,464	2,529	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 画計	30年度 画計	31年度 画計	32年度 画計	備考
患者満足度(%)	85.2	85.2	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
健康・医療相談件数(件)	6,421	7,127	7,127	7,127	7,127	7,127	7,127	

【奈良尾医療センター】

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 画計	30年度 画計	31年度 画計	32年度 画計	備考
紹介率(%)	4.5	2.4	2.4	2.0	2.0	2.0	2.0	
逆紹介率(%)	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	
訪問診療・看護件数(件)	662	706	504	504	504	504	504	
リハビリ件数(件)	4,417	5,105	5,040	4,940	4,840	4,740	4,640	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 画計	30年度 画計	31年度 画計	32年度 画計	備考
患者満足度(%)	-	-	70.0	72.0	75.0	78.0	80.0	
健康・医療相談件数(件)	60	66	58	47	46	45	45	

(4) 住民の理解を得るための取組

- 行政・介護・福祉との連携、在宅医療の支援
- 病院運営協議会、病院フェスタの開催、ホームページ、SNS を利用した地域への積極的な情報発信と地域住民活動への参加

2 経営の効率化

(1) 経営指標に係る数値目標

【上五島病院】

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	99.8	97.1	96.4	102.2	101.4	100.3	100.4	
医業収支比率(%)	91.1	91.2	89.6	93.3	92.5	92.2	92.5	
修正医業収支比率(%)	101.7	99.9	99.4	104.7	104	103.8	104.4	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	23.1	23.8	25.5	19.9	19.9	19.9	19.9	
委託費対医業収益比率(%)	2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	
職員給与費対医業収益比率(%)	59.4	60.0	59.4	61.4	62.1	62.4	62.4	
減価償却費対医業収益比率(%)	10.0	8.9	10.1	10.4	10.7	10.8	10.8	
後発医薬品の使用割合(%)	40.4	55.7	63.0	70.0	80.0	80.0	80.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	2,649	2,672	2,736	2,658	2,658	2,665	2,658	
1日当たり入院患者数(人)	150.2	152.2	158.4	159.0	159.0	158.7	159.1	
1日当たり外来患者数(人)	520.4	527.5	520.9	522.0	521.7	521.5	523.5	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	32,475	32,013	32,308	34,947	34,980	34,989	35,183	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	7,985	8,476	9,635	9,579	9,585	9,589	9,571	
病床利用率(%) <一般・療養>	80.8	81.8	85.1	85.5	85.5	85.3	85.5	
平均在院日数(日) <一般>	15.9	15.8	16.2	19.7	19.7	19.6	19.7	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	18	19	19	19	19	19	19	
現金保有残高(千円)	1,650,963	2,168,052	2,419,072	2,673,796	2,905,751	3,133,378	3,335,819	
企業債残高(千円)	341,370	487,150	410,000	332,600	256,800	204,000	100,600	

【有川医療センター】

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	117.0	117.8	106.6	109.5	109.5	109.8	109.2	
医業収支比率(%)	102.4	105.3	102.1	104.0	104.0	104.3	103.8	
修正医業収支比率(%)	117.4	120.1	117.1	118.3	118.0	117.9	117.7	

② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	24.7	24.3	23.3	23.2	23.2	23.2	23.2	
委託費対医業収益比率(%)	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	
職員給与費対医業収益比率(%)	47.4	46.8	50.7	49.2	49.6	49.8	49.9	
減価償却費対医業収益比率(%)	10.4	9.6	10.7	9.9	9.4	9.2	9.4	
後発医薬品の使用割合(%)	33.9	49.0	60.0	70.0	72.0	75.0	80.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
1日当たり外来患者数(人)	136.5	140.7	135.9	139.1	139	139.2	139.2	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	10,871	10,724	10,630	10,695	10,684	10,706	10,709	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	1.5	2	2	2	2	2	2	
現金保有残高(千円)	250,249	214,889	255,889	314,889	370,889	439,889	509,889	
企業債残高(千円)	39,000	58,600	47,200	42,200	37,600	32,000	29,000	

### 【奈良尾医療センター】

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	96.7	92.6	93.7	83.5	85.7	89.5	91.1	
医業収支比率(%)	70.0	65.9	64.6	69.2	70.6	73.5	74.8	
修正医業収支比率(%)	84.9	78.5	77.0	81.8	81.8	84.7	86.5	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	19.3	21.5	21.3	21.7	21.7	21.7	21.7	
委託費対医業収益比率(%)	8.2	8.6	8.3	8.2	8.2	8.2	8.2	
職員給与費対医業収益比率(%)	76.1	83.5	88.4	80.7	80.7	76.5	74.1	
減価償却費対医業収益比率(%)	23.4	17.9	20.0	18.0	15.0	13.8	13.8	
後発医薬品の使用割合(%)	50.0	60.0	60.0	70.0	70.0	70.0	70.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
1日当たり外来患者数(人)	100.8	98.0	92.8	98.0	98.0	98.0	98.0	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	6,105	5,995	5,843	6,000	6,000	6,000	6,000	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	1	1	1	1	1	1	1	
現金保有残高(千円)	67,513	35,432	△ 21,568	△ 71,568	△ 122,568	△ 150,568	△ 175,568	△分は基幹病院から借入
企業債残高(千円)	173,760	190,500	173,352	158,619	141,268	121,900	100,453	

## (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

○人口減による患者数の減少が予想されるが、高齢者人口は微減であること、また、地域外患者流出の抑制等を図り、患者数等の現状維持を目標に、2 附属診療所を含め、経常収支黒字化を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ①民間的経営手法の導入

◇DPC民間病院との経営比較による経営の効率化

#### ②事業規模・事業形態の見直し

◇DPC導入による医療の質の向上

◇地域のニーズに合った医療を提供するため、地域包括ケアへの病床転換

#### ③収入増加・確保対策

◇適正な病床利用の推進

◇新たな診療報酬施設基準（加算）の取得による収益増加

◇研修会参加などによる業務精度の向上に努め、診療報酬請求漏れを防止

◇未収金対策の推進

#### ④経費削減・抑制対策

◇評価基準に基づく適切な後発医薬品の採用・使用促進

◇不足する診療科の常勤医師を確保し、派遣医師による旅費・報償費を削減

◇省エネ意識の啓発や電球のLED化などによる光熱水費の節減

◇医療機器の計画的な整備

#### ⑤その他

◇看護師の確保対策

◇電子カルテによる医療の質の向上、セキュリティー対策の推進

◇個人情報保護の取組強化

◇高度な専門知識や技術を有する人材の育成

◇接遇の向上、待ち時間対策、医療相談体制の充実などによる患者サービスの向上

### 3 再編・ネットワーク化

#### (1) 二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

○公立病院 1、公立診療所 1

#### (2) 再編・ネットワーク化計画

○平成28年度、長崎県上五島病院の療養病床（50床）のうち、36床について地域包括ケア病床へ転換しましたが、今後の療養病床（14床）のあり方については、医療需要や後方支援施設等の整備状況を踏まえて検討します。

○有川、奈良尾の両附属診療所については、更なる経営の効率化を図りながら、当面は現在の医療機能を維持することとします。

○また、平成28年度から地域包括ケアシステムの構築のための在宅医療の推進にあたり、在宅医療・介護連携支援センターへの運営協力（新上五島町役場主体）、あじさいネットを利用した情報共有を進めます。

## 5 対馬地域の取組方針

- 慢性疾患の定期的な検査の実施や入院・外来受診患者との信頼関係により、島外患者流出の抑制を図り、対馬で最期まで安心して生活できる医療環境を構築します。
- 医療情報を他の施設と共有し、更なる病診連携及び介護施設や院外薬局との連携を推進し、島内全域に医療・介護サービスを届けるシステム構築を目指します。
- 医療技術修学資金貸与制度を活用するとともに、医療系の学生を対象としたワークショップや看護学生を対象としたインターンシップを定期的を開催し、医療人材の確保に努めます。
- 脳ドック等、健診事業の充実と特定健診等受診率を向上させることで、病気の予防と早期発見により、健康寿命の向上と新入院患者の確保に努め、経営の健全化を図ります。

### 対馬病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 対馬医療圏の中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療など、質の高い島内完結型医療を提供
- 地域リハビリテーション広域支援センターとして、院内でのリハビリテーションの提供のほか、地域関係者の研修会等を実施
- 後方支援病院、診療所、関係施設等との連携の構築
- 地域医療連携室を中心とした在宅医療の強化
- 地域医療を担う人材を育成するため、医師等医療従事者の研修受入体制を整備

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 認知症高齢者数の増加を鑑み、認知症地域推進委員を配置し、医療と介護の連携強化や支援体制を構築
- 訪問看護及び訪問リハビリ提供体制の強化

### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	6,638	8,853	9,695	9,695	9,695	9,695	9,695	
手術件数(件)	856	969	948	948	948	948	948	
臨床研修医の受入件数(件)	14	12	27	27	27	27	27	
医師派遣等件数(件)	86	103	105	105	105	105	105	
紹介率(%)	-	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	
逆紹介率(%)	-	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
訪問診療・看護件数(件)	981	1,102	1,023	1,023	1,023	1,023	1,023	
在宅復帰率(%)	-	-	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	
リハビリ件数(件)	32,944	35,288	41,906	41,906	41,906	41,906	41,906	
分娩件数(件)	222	227	251	251	251	251	251	
クリニカルパス件数(件)	-	561	756	756	756	756	756	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	-	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	83.6	
健康・医療相談件数(件)	-	7,067	7,498	7,498	7,498	7,498	7,498	

### (4) 住民の理解を得るための取組

- 病院運営協議会の開催により、医療機能や経営状況等を地域へ発信
- 「ふれあいフェスタ」の開催、広報誌により診療情報の周知を行い、住民との信頼関係を構築

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	97.1	92.9	89.8	88.5	93.9	94.8	95.6	
医業収支比率(%)	84.3	82.6	79.8	78.1	83.3	84.4	85.4	
修正医業収支比率(%)	90.3	96.3	92.0	89.4	95.4	96.4	97.3	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	22.7	23.4	22.5	21.6	20.1	19.9	19.6	
委託費対医業収益比率(%)	7.1	9.2	10.4	11.9	11.1	10.9	10.7	
職員給与費対医業収益比率(%)	68.3	70.8	67.3	69.6	65.6	65.2	65.0	
減価償却費対医業収益比率(%)	8.0	4.7	14.9	15.1	14.1	13.7	13.1	
後発医薬品の使用割合(%)	37.0	37.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	

③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	3,879	3,747	3,765	3,706	3,706	3,844	3,987	
1日当たり入院患者数(人)	240.8	216.5	225.9	221.3	221.3	228.1	236.1	
1日当たり外来患者数(人)	778.6	710.1	711.5	707.5	707.5	707.5	707.5	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	31,026	31,730	34,022	34,567	38,790	38,923	39,066	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	7,921	7,976	8,642	8,667	8,669	8,671	8,671	
病床利用率(%) <一般>	80.7	83.4	87.7	81.3	81.3	84.2	87.7	
平均在院日数(日) <一般>	18.9	18.1	18.7	18.4	18.4	18.4	18.4	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	34	31	31	31	31	31	31	
現金保有残高(千円)	6,229,079	1,559,652	1,291,894	1,259,993	1,560,949	1,908,135	2,289,467	
企業債残高(千円)	3,919,557	4,661,276	4,243,759	4,090,240	3,925,021	3,754,889	3,546,535	

## (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

○新病院開院の翌年から5年間は、建設投資による減価償却費が高い水準で推移し、計画期間中の経常収支黒字化は困難であることから、平成33年度の黒字化を目指します。

## (3) 目標達成に向けた主な取組

### ①民間的经营手法の導入

- ◇医事業務の委託化による経営の効率化
- ◇DPC民間病院との経営比較による経営の効率化

### ②事業規模・事業形態の見直し

- ◇DPC導入による医療の質の向上

### ③収入増加・確保対策

- ◇地域包括ケア病棟の適正な病床利用の推進
- ◇新たな診療報酬施設基準(加算)の取得による収益増加
- ◇診療報酬請求漏れを防止
- ◇遊休固定資産の早期売却
- ◇未収金対策の推進

### ④経費削減・抑制対策

- ◇診療材料のベンチマークシステム(全国の医療機関の最新購入価格をインターネット上で照会・比較するシステム)導入による診療材料費の削減
- ◇後発医薬品の採用・使用促進
- ◇医療機器の計画的な整備

### ⑤その他

- ◇医師・看護師の確保対策
- ◇職員の経営意識を高めるための研修等の実施

◇接遇の向上、待ち時間対策、医療相談体制の充実などによる患者サービスの向上

### 3 再編・ネットワーク化

#### (1) 二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

○公立病院 2

#### (2) 再編・ネットワーク化計画

○病院の再編については、平成 27 年 5 月に対馬いづはら病院と中対馬病院の統合により一定終了しています。

○また、ネットワーク化計画については、地域包括ケアシステム構築のためにも、医師、看護師、薬剤師及び介護関係者等、患者に関わる多職種が迅速に情報を共有し、切れ目のない支援を行うことが不可欠であり、「あじさいネット」の導入（平成 28 年度）により情報提供病院となり、地域の診療所、介護施設等と情報共有ネットワークによる連携を推進します。

### 上対馬病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

○対馬医療圏の北部地区唯一の地域病院として、救急医療、急性期から慢性期にわたる医療、へき地医療を提供

○訪問看護ステーション、通所リハビリテーションを併設、在宅医療を支援

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

○地域の中核病院と連携した在宅医療システムの構築

○行政との連携を強化し、地域住民の健診事業を実施

##### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	1,533	1,469	1,671	1,671	1,671	1,676	1,671	
臨床研修医の受入件数(件)	3	4	4	4	4	4	4	
医師派遣等件数(件)	50	85	50	50	50	50	50	
訪問診療・看護件数(件)	507	493	516	516	516	518	516	
リハビリ件数(件)	9,240	8,111	9,061	9,101	9,101	9,101	9,061	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	-	-	70.0	73.0	75.0	78.0	80.0	
健康・医療相談件数(件)	285	379	374	374	374	374	374	

#### (4) 住民の理解を得るための取組

○地域情報誌による特別診療や健康診断、予防接種の案内、並びに病気や住民の健康に関する医療情報を提供し、住民との信頼関係を構築

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	98.1	95.2	100.8	96.9	98.1	101.3	102.1	
医業収支比率(%)	75.7	74.1	78.9	75.5	76.7	80.0	80.8	
修正医業収支比率(%)	81.2	81.3	88.3	85.7	86.8	88.3	87.4	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	15.6	16.3	15.4	15.6	15.6	15.6	15.6	
委託費対医業収益比率(%)	5.7	5.9	5.6	6.1	6.1	6.1	6.1	
職員給与対医業収益比率(%)	83.0	86.4	79.9	86.9	85.9	84.3	84.8	
減価償却費対医業収益比率(%)	14.4	13.5	14.6	12.5	11.5	7.9	6.2	
後発医薬品の使用割合(%)	44.5	50.7	56.0	62.0	62.0	62.0	62.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	611	634	736	747	747	749	747	
1日当たり入院患者数(人)	37.7	35.9	39.9	42.0	42.0	42.0	42.0	
1日当たり外来患者数(人)	134.6	127.1	125.8	126.0	126.0	126.0	126.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	25,714	26,506	26,920	26,940	26,940	26,940	26,940	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	8,579	8,701	8,895	8,900	8,900	8,900	8,900	
病床利用率(%) <一般>	36.7	59.9	66.6	70.0	70.0	70.0	70.0	
平均在院日数(日) <一般>	21.6	19.8	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	4	4	4	4	4	4	4	
現金保有残高(千円)	168,999	175,116	111,116	67,116	74,116	106,116	134,116	
企業債残高(千円)	461,725	390,468	350,513	292,441	238,437	219,681	203,009	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

○病床利用率70%の目標に向けて、患者の確保及び現状の単価等を維持することにより、平成31年度以降の経常収支黒字化を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ①収入増加・確保対策

◇適正な病床利用の推進

◇診療報酬施設基準（加算）の取得による収益増加

◇診療報酬請求漏れ防止、査定減の減少など、診療報酬請求の適正化

◇未収金対策の推進

## ②経費削減・抑制対策

◇評価基準に基づく適切な後発医薬品の採用・使用促進

◇SPD（物品物流管理）を見直し、診療材料費を削減

◇電球のLED化などによる光熱水費の節減

## ③その他

◇医師・看護師等医療従事者の確保

◇医師事務作業補助者の配置による医師の負担軽減

◇職員の働きやすい職場環境づくり（保育室閉鎖に伴う保育料助成制度導入など）

## 3 再編・ネットワーク化

### （1）二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

○公立病院 2

### （2）再編・ネットワーク化計画

○平成25年度から平成27年度の3年間で病床利用率が70%を下回っていますので、地域包括ケア病床や療養病床への転換など、今後の病床のあり方については、本計画期間中の人口や患者数の推移など医療需要を見極めて検討します。

## 6 吉岐病院の取組方針

- 医師・看護師等医療従事者の確保をはじめ、病院全体で医療提供体制の改善に取り組み、医療の質の向上、医療の安全、患者サービスの改善を推進します。
- 今後の医療需要等を見極め、病棟体制・病床数、外来診療体制の見直しを検討するとともに、地域包括ケアシステム構築に向けて、島内の医療ネットワークの充実に努めます。
- 患者受入体制の強化による病床利用率の向上と収益の増加・経費削減対策に取り組み、経営健全化の推進を図ります。
- 若い医師を育成する体制の整備や職員研修の充実に図り、将来を担う人材を育成します。

### 吉岐病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 吉岐医療圏の中核病院として、二次救急をはじめ急性期医療を中心に、島内完結を目指した質の高い医療を提供
- 地域包括ケアシステムの中核を担う病院として、島内の後方支援病院、診療所、介護等関係機関との連携を構築
- 医師等医療従事者の研修受入体制を整備し、地域医療を担う人材を育成

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 島内の医療・介護等関係機関との連携を強化するとともに、あじさいネットの積極的な活用によるネットワークづくり等、地域包括ケアシステムの構築に向けた調整・支援

##### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

① 医療機能・医療品質に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
救急患者数(人)	959	908	900	900	900	900	900	
手術件数(件)	467	420	450	460	460	460	460	
臨床研修医の受入件数(件)	12	16	24	24	24	24	36	
医師派遣等件数(件)	-	2	10	10	10	10	10	
紹介率(%)	14.8	10.7	10.2	10.7	10.7	10.7	10.7	
逆紹介率(%)	12.8	14.4	12.8	13.3	13.3	13.3	13.3	
在宅復帰率(%)	86.4	84.9	85.0	86.0	86.0	87.0	87.0	
リハビリ件数(件)	33,588	22,231	20,283	20,968	21,682	22,034	22,194	
分娩件数(件)	79	69	80	80	80	80	80	
クリニカルパス件数(件)	-	22	29	34	40	40	40	
② その他	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
患者満足度(%)	-	85.6	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	
健康・医療相談件数(件)	8,464	8,747	8,750	8,919	9,097	9,280	9,465	

#### (4) 住民の理解を得るための取組

- 病院機関誌の配布先の拡充、病院ホームページや市広報誌のほかケーブルテレビを活用した情報発信等、住民に身近な病院づくり
- 病院運営協議会や地域住民とのふれあいの場として病院フェスタを開催

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

① 収支改善に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
経常収支比率(%)	96.7	95.9	97.8	97.9	97.2	98.4	100.3	
医業収支比率(%)	84.4	83.6	87.2	88.3	88.1	89.2	91.3	
修正医業収支比率(%)	95.1	91.5	96.7	96.4	96.8	99.5	100.9	
② 経費削減に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	18.5	17.0	18.7	17.0	16.8	16.5	16.3	
委託費対医業収益比率(%)	10.0	10.5	10.3	9.6	9.5	9.3	9.4	
職員給与費対医業収益比率(%)	70.5	72.1	66.8	67.4	67.7	66.6	65.0	
減価償却費対医業収益比率(%)	9.4	9.8	10.1	10.2	10.4	11.2	10.6	
後発医薬品の使用割合(%)	30.4	60.9	82.4	83.0	83.0	83.0	83.0	
③ 収入確保に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
新入院患者数(人)	1,961	2,202	2,730	2,528	2,574	2,629	2,683	
1日当たり入院患者数(人)	136.7	135.6	152.9	153.9	156.1	157.2	158.4	
1日当たり外来患者数(人)	355.3	327.3	331.2	330.0	330.0	335.0	335.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	30,250	30,064	30,893	30,926	31,051	31,407	31,727	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	7,521	8,083	8,256	8,282	8,366	8,730	8,818	
病床利用率(%) <一般・療養>	81.3	80.7	90.9	91.6	92.9	93.6	94.3	
平均在院日数(日) <一般>	18.0	16.3	15.0	16.1	15.9	15.7	15.5	
④ 経営の安定性に係るもの	26年度 実績	27年度 実績	28年度 見込み	29年度 計画	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画	備考
医師数(人)	13	13	13	13	13	13	13	
現金保有残高(千円)	759,217	649,735	683,616	691,667	690,038	813,037	1,002,032	
企業債残高(千円)	3,144,317	3,291,849	3,189,579	3,302,701	3,309,872	3,078,139	2,844,510	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 本計画における医療提供体制の整備・充実により、患者数・単価の増を図るとともに、継続的なコスト縮減に取り組み、平成32年度までに経常収支黒字化を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ① 民間的経営手法の導入

- ◇ 医事、給食、施設管理の業務委託の範囲や内容の再検討による経営の効率化

◇D P C 民間病院との経営比較による経営の効率化

## ②事業規模・事業形態の見直し

◇D P C 導入による医療の質の向上

◇病棟機能・病床数の見直し

◇特別診療（非常設外来、専門外来）の見直し

◇夜間透析の実施など、人工透析充実・機能強化

## ③収入増加・確保対策

◇療養病棟のレスパイト入院受入

◇診療報酬施設基準の取得

・医師事務作業補助体制加算（一般：125 対 1）（療養：150 対 1）

・退院支援加算 1（一般・療養）

・患者サポート体制充実加算

・後発医薬品使用体制加算 1

◇未収金対策の推進

## ④経費削減・抑制対策

◇コピー機のリース契約の見直し

◇院内照明のLED化による光熱水費削減

◇医療機器等の計画的な整備

## ⑤その他

◇初期研修医の地域医療研修の受入強化

◇医師・看護師の確保対策

## 3 再編・ネットワーク化

### （1）二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

○公立病院 1、民間病院 4、民間診療所 1

### （2）再編・ネットワーク化計画

○今後の人口や患者数の推移など医療需要等を見極めたうえで、病棟体制・病床数のあり方について、関係機関と協議し、検討していきます。

## VIII 進行管理（点検・評価・公表）

- 企業団議会、運営会議及び各地域の運営協議会において、目標の達成状況や進捗を検証・評価し、計画の着実な実行を目指します。  
また、その結果については、病院企業団ホームページで公表します。
- この第2次中期経営計画は、医療を取り巻く環境の急激な変化や診療報酬の改定等を踏まえ、必要に応じ適宜計画の見直しを実施します。

## IX 全体、各地域及び病院ごとの収支計画

### 収支計画の前提条件

- 平成25～27年度は実績を記入。
- 対馬病院の平成25、26年度実績は、旧2病院合算で、平成27年度実績は3病院合算で作成。
- 壱岐病院の平成25、26年度実績は壱岐市民病院の実績で作成。
- 平成28年度は決算見込みで作成。
- 平成29～32年度は、病院企業団全体の取り組みや各地域・病院ごとの取り組み内容を踏まえて決算ベースで作成。



## 計画期間中の収支計画

(別紙)

病院名

長崎県病院企業団

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	22,966	22,679	22,025	22,734	24,051	24,554	24,782	24,954
	(1) 入院収益	14,532	14,276	13,809	14,301	15,408	15,868	16,050	16,232
	(2) 外来収益	6,917	6,850	6,679	6,934	7,219	7,260	7,304	7,292
	(3) その他	1,518	1,553	1,537	1,498	1,425	1,426	1,428	1,430
	うち他会計負担金 a'	460	484	439	389	353	353	353	353
	2. 医業外収益	3,948	4,580	4,322	4,287	4,451	4,452	4,376	4,324
	(1) 他会計負担金・補助金	3,482	3,610	3,605	3,492	3,804	3,806	3,779	3,759
	(2) 国(県)補助金	116	120	138	160	86	86	71	71
	(3) 長期前受金戻入	0	481	350	410	358	343	313	282
	(4) その他	350	369	230	226	203	218	214	213
経常収益(A)	26,914	27,259	26,347	27,021	28,502	29,006	29,158	29,278	
支	1. 医業費用 b	25,456	25,748	25,598	26,900	27,587	27,741	27,846	27,965
	(1) 職員給与費 c	14,117	14,212	14,254	14,809	15,287	15,472	15,531	15,644
	うち退職給付費 c'	768	479	523	544	519	581	583	588
	(2) 材料費	5,142	4,943	4,912	5,141	5,184	5,194	5,214	5,218
	(3) 経費	4,042	4,146	4,241	4,087	4,213	4,245	4,258	4,264
	(4) 減価償却費 d	1,907	2,241	1,984	2,648	2,724	2,630	2,629	2,643
	(5) その他	248	206	206	215	179	201	214	195
	2. 医業外費用	1,050	1,195	1,371	1,358	1,290	1,276	1,316	1,277
	(1) 支払利息	388	366	375	355	344	339	335	320
	(2) その他	662	829	996	1,003	946	937	982	957
経常費用(B)	26,506	26,943	26,969	28,258	28,877	29,017	29,162	29,242	
経常損益(A)-(B)(C)	408	317	△ 622	△ 1,237	△ 375	△ 11	△ 5	36	
特別損益	1. 特別利益(D)	17	743	915	359	18	15	15	15
	2. 特別損失(E)	274	1,679	3,294	574	455	455	25	25
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 257	△ 936	△ 2,380	△ 215	△ 438	△ 441	△ 10	△ 10
純損益(C)+(F)	152	△ 619	△ 3,002	△ 1,452	△ 812	△ 452	△ 15	26	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	101.5	101.2	97.7	95.6	98.7	100.0	100.0	100.1	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	90.2	88.1	86.0	84.5	87.2	88.5	89.0	89.2	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	98.8	96.4	93.5	94.2	97.3	98.7	99.2	99.5	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	61.5	62.7	64.7	65.1	63.6	63.0	62.7	62.7	
病床利用率	75.9	75.9	75.4	77.3	80.3	80.6	81.1	81.9	

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度	
収 入	1. 企業債	1,183	3,290	1,999	1,037	1,448	1,700	1,333	1,119	
	2. 他会計出資金	100	1,227	1,128	1,069	1,244	1,303	1,347	1,375	
	3. 他会計負担金	1,147	82	73	38	85	76	116	133	
	4. 他会計借入金	130	296	46	2	5	19	20	25	
	5. 他会計補助金	35	0	0	4	0	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	789	2,529	22	18	0	0	0	0	
	7. その他	554	1,703	56	1	1	1	1	1	
	収入計 (a)	3,937	9,127	3,325	2,168	2,783	3,100	2,818	2,653	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	3	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	3,937	9,124	3,325	2,168	2,783	3,100	2,818	2,653	
	支 出	1. 建設改良費	3,300	9,005	2,890	1,667	1,844	1,992	1,665	1,307
		2. 企業債償還金	1,872	1,980	1,860	1,770	1,956	2,058	2,139	2,209
		3. 他会計長期借入金返還金	10	19	3	3	15	54	55	55
4. その他		71	89	55	72	72	75	76	71	
支出計 (B)		5,253	11,093	4,808	3,512	3,886	4,179	3,934	3,642	
差引不足額 (B)-(A) (C)	1,316	1,969	1,483	1,344	1,104	1,080	1,117	989		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	1,168	1,359	1,271	1,220	1,020	995	1,028	888	
	2. 利益剰余金処分数額	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	145	609	212	123	84	84	89	101	
	計 (D)	1,313	1,968	1,483	1,344	1,104	1,080	1,117	989	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	3	0	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	3	0	0	0	0	0	0	0		
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0		

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	3,942,275	4,094,050	4,043,993	3,880,787	4,111,043	4,110,817	4,085,586	4,064,569
資本的収支	1,411,297	1,603,947	1,247,066	1,108,547	1,330,937	1,398,007	1,479,804	1,530,145
合計	5,353,572	5,697,997	5,291,059	4,989,334	5,441,980	5,508,824	5,565,390	5,594,714

(別紙)

病院名 精神医療センター

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	1,448	1,472	1,414	1,478	1,506	1,519	1,535	1,545
	(1) 入院収益	1,164	1,200	1,115	1,174	1,202	1,214	1,229	1,237
	(2) 外来収益	211	205	210	209	205	206	208	209
	(3) その他	74	66	90	94	99	99	99	99
	うち他会計負担金 a'	43	43	47	47	47	47	47	47
	2. 医業外収益	442	554	482	462	483	481	477	476
	(1) 他会計負担金・補助金	386	421	414	396	419	419	419	419
	(2) 国(県)補助金	49	49	3	3	3	3	3	3
	(3) 長期前受金戻入		70	57	56	53	51	48	47
	(4) その他	7	13	8	7	7	8	7	7
経常収益(A)	1,890	2,026	1,896	1,940	1,988	2,000	2,012	2,021	
支	1. 医業費用 b	1,718	1,702	1,718	1,777	1,753	1,765	1,774	1,792
	(1) 職員給与費 c	1,249	1,179	1,188	1,235	1,228	1,240	1,252	1,264
	うち退職給付費 c'	100	1	17	24	23	23	24	24
	(2) 材料費	167	160	163	179	163	164	166	167
	(3) 経費	220	229	240	230	227	228	227	228
	(4) 減価償却費 d	65	113	112	114	119	117	113	116
	(5) その他	18	21	14	18	16	16	16	16
	2. 医業外費用	31	38	38	41	39	40	40	41
	(1) 支払利息	7	5	3	3	3	3	2	2
	(2) その他	23	33	34	38	36	37	38	39
経常費用(B)	1,748	1,740	1,755	1,817	1,792	1,805	1,815	1,833	
経常損益(A)-(B)(C)	142	286	141	123	197	195	198	188	
特別損益	1. 特別利益(D)	2	17	2	2	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	73	188	94	89	88	88	1	1
	特別損益(D)-(E)(F)	△71	△171	△92	△87	△88	△88	△1	△1
純損益(C)+(F)	71	115	49	35	109	106	197	187	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	108.1	116.4	108.0	106.8	111.0	110.8	110.9	110.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.3	86.5	82.3	83.2	85.9	86.0	86.6	86.2	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	90.5	90.0	86.0	87.3	90.6	90.6	90.9	90.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	86.2	80.1	84.0	83.6	81.5	81.6	81.5	81.8	
病床利用率	80.8	83.4	78.7	76.9	78.7	79.4	80.1	80.9	

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	15	15	42	15	15	15	15	15
	2. 他会計出資金		105	18	20	20	20	20	20
	3. 他会計負担金	114							
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	1	1	1	5				
	7. その他								
	収入計 (a)	130	122	62	40	35	35	35	35
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	130	122	62	40	35	35	35	35	
支 出	1. 建設改良費	52	39	47	43	15	16	15	15
	2. 企業債償還金	180	168	33	37	37	38	37	37
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他								
	支出計 (B)	233	207	81	79	52	54	52	52
差引不足額 (B)-(A) (C)	102	85	19	40	17	19	17	17	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	100	82	15	37	16	18	16	16
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	2	3	3	3	1	1	1	1
	計 (D)	102	85	19	40	17	19	17	17
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	428,416	464,390	461,656	442,901	466,749	466,626	466,492	466,349
資本的収支	114,355	105,359	18,473	19,505	19,624	20,150	19,909	19,908
合計	542,771	569,749	480,129	462,406	486,373	486,776	486,401	486,257

(別紙)

病院名

島原病院

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	4,994	5,069	4,900	4,881	5,504	5,504	5,504	5,504
	(1) 入院収益	3,667	3,652	3,579	3,550	4,005	4,005	4,005	4,005
	(2) 外来収益	1,111	1,191	1,120	1,135	1,337	1,337	1,337	1,337
	(3) その他	217	226	201	196	162	162	162	162
	うち他会計負担金 a'	107	130	118	107	107	107	107	107
	2. 医業外収益	356	507	484	436	476	467	460	448
	(1) 他会計負担金・補助金	316	379	377	337	382	380	383	378
	(2) 国(県)補助金	27	26	25	23	25	25	25	25
	(3) 長期前受金戻入		85	65	62	56	48	38	30
	(4) その他	14	17	16	14	14	14	14	15
経常収益(A)	5,351	5,576	5,384	5,317	5,980	5,971	5,964	5,952	
支	1. 医業費用 b	5,079	5,128	5,190	5,331	5,603	5,589	5,627	5,661
	(1) 職員給与費 c	2,558	2,511	2,644	2,737	2,781	2,806	2,800	2,814
	うち退職給付費 c'	181	29	111	99	121	121	121	121
	(2) 材料費	1,184	1,172	1,207	1,249	1,450	1,450	1,451	1,451
	(3) 経費	831	857	818	799	788	822	822	841
	(4) 減価償却費 d	466	564	500	513	562	470	527	526
	(5) その他	40	24	21	32	21	40	27	29
	2. 医業外費用	260	309	306	326	296	294	298	290
	(1) 支払利息	132	126	118	111	109	108	112	104
	(2) その他	128	183	188	215	187	186	186	186
経常費用(B)	5,339	5,437	5,495	5,657	5,899	5,883	5,925	5,951	
経常損益(A)-(B)(C)	12	139	△ 111	△ 340	81	89	39	2	
特別損益	1. 特別利益(D)	2	30	3	6	4	4	4	4
	2. 特別損失(E)	23	308	100	104	102	102	4	4
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 22	△ 278	△ 97	△ 98	△ 98	△ 98	△ 0	△ 0
純損益(C)+(F)	△ 10	△ 139	△ 209	△ 438	△ 17	△ 9	39	1	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.2	102.6	98.0	94.0	101.4	101.5	100.7	100.0	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.3	98.9	94.4	91.6	98.2	98.5	97.8	97.2	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	110.3	108.9	104.5	101.2	109.7	108.0	108.4	107.6	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	51.2	49.5	54.0	56.1	50.5	51.0	50.9	51.1	
病床利用率	81.2	80.8	76.6	75.7	82.6	82.6	82.4	82.6	

病院名	島原病院
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	135	117	184	486	698	1,050	400	300
	2. 他会計出資金		323	297	315	338	387	450	480
	3. 他会計負担金	346	58	36		52	44	84	101
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	17	0						
	7. その他			1					
	収入計 (a)	498	498	518	801	1,089	1,481	934	881
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	498	498	518	801	1,089	1,481	934	881	
支 出	1. 建設改良費	211	163	236	543	777	1,064	404	301
	2. 企業債償還金	494	545	491	478	570	666	789	847
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他	3			7				
	支出計 (B)	708	708	727	1,027	1,347	1,730	1,193	1,148
差引不足額 (B)-(A) (C)	210	210	209	226	259	249	259	267	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	200	201	193	186	241	229	236	240
	2. 利益剰余金処分数額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	10	9	17	40	17	20	23	27
	計 (D)	210	210	209	226	259	249	259	267
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	422,879	509,906	495,023	443,731	458,618	456,485	459,442	454,738
資本的収支	345,600	380,432	332,685	315,457	390,643	431,223	533,379	581,159
合計	768,479	890,338	827,708	759,188	849,261	887,708	992,821	1,035,897

(別紙)

地域名

五島地域

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	4,899	4,889	4,740	4,534	5,002	5,109	5,119	5,104
	(1) 入院収益	2,952	3,054	2,977	2,787	3,228	3,304	3,313	3,304
	(2) 外来収益	1,614	1,490	1,469	1,458	1,514	1,546	1,547	1,541
	(3) その他	332	346	295	289	260	259	259	259
	うち他会計負担金 a'	111	111	74	74	33	33	33	33
	2. 医業外収益	1,251	1,366	1,332	1,320	1,431	1,427	1,398	1,380
	(1) 他会計負担金・補助金	1,140	1,168	1,164	1,143	1,310	1,309	1,292	1,283
	(2) 国(県)補助金	5	8	39	49	4	4	4	4
	(3) 長期前受金戻入	0	89	77	80	68	66	56	47
	(3) その他	106	101	52	48	49	48	46	46
経常収益(A)	6,150	6,256	6,072	5,854	6,433	6,536	6,517	6,484	
支	1. 医業費用 b	5,693	5,788	5,751	5,735	5,999	6,047	6,025	6,058
	(1) 職員給与費 c	2,954	3,020	3,015	3,081	3,172	3,227	3,205	3,234
	うち退職給付費 c'	127	133	108	105	91	129	112	128
	(2) 材料費	1,275	1,193	1,162	1,102	1,189	1,196	1,197	1,193
	(3) 経費	997	1,054	1,025	957	1,043	1,039	1,055	1,036
	(4) 減価償却費 d	428	485	504	551	551	546	495	544
	(5) その他	40	36	46	44	44	39	73	51
	2. 医業外費用	317	352	372	335	358	349	389	359
	(1) 支払利息	150	143	135	128	122	117	111	110
	(2) その他	166	209	237	207	236	232	278	249
経常費用(B)	6,010	6,140	6,123	6,071	6,357	6,396	6,414	6,417	
経常損益(A)-(B)(C)	140	116	△ 51	△ 216	76	140	103	67	
特別損益	1. 特別利益(D)	2	101	42	7	7	4	4	4
	2. 特別損失(E)	112	284	85	78	78	78	8	8
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 110	△ 183	△ 43	△ 71	△ 71	△ 74	△ 4	△ 4
純損益(C)+(F)	30	△ 67	△ 94	△ 288	5	66	99	63	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.3	101.9	99.2	96.4	101.2	102.2	101.6	101.0	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	86.0	84.5	82.4	79.1	83.4	84.5	85.0	84.3	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	93.2	92.4	90.8	87.8	92.8	94.5	93.9	94.2	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	60.3	61.8	63.6	68.0	63.4	63.2	62.6	63.4	
病床利用率	65.7	73.3	71.6	69.0	75.5	75.5	75.5	75.5	

地域名	五島地域
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分	1. 企業債	210	164	367	285	245	245	728	398
	2. 他会計出資金	0	352	367	386	422	419	405	410
収	3. 他会計負担金	341	7	11	10	11	11	11	11
	4. 他会計借入金	0	2	5	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	56	46	11	0	0	0	0	0
	7. その他	0	14	3	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	607	585	765	680	678	675	1,144	819
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	3	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	607	582	765	680	678	675	1,144	819
	入	1. 建設改良費	493	323	543	391	330	288	824
2. 企業債償還金		516	553	582	616	662	653	623	652
3. 他会計長期借入金返還金		0	0	0	0	0	0	0	0
4. その他		18	13	14	15	18	19	17	12
支出計 (B)		1,027	888	1,138	1,022	1,010	960	1,464	1,125
差引不足額 (B)-(A) (C)	420	306	374	341	332	285	320	306	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	393	282	334	312	308	264	299	285
	2. 利益剰余金処分数額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	23	24	40	29	24	21	21	21
	計 (D)	417	306	374	341	332	285	320	306
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	3	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	3	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	3	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	1,250,288	1,279,051	1,237,889	1,217,467	1,326,090	1,324,270	1,308,143	1,299,180
資本的収支	340,822	360,538	383,705	395,452	433,238	430,286	415,379	420,705
合計	1,591,110	1,639,589	1,621,594	1,612,919	1,759,328	1,754,556	1,723,522	1,719,885

(別紙)

病院名

五島中央病院

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	4,027	4,077	3,974	3,784	4,180	4,287	4,294	4,282
	(1) 入院収益	2,518	2,583	2,498	2,320	2,714	2,790	2,797	2,790
	(2) 外来収益	1,278	1,266	1,256	1,247	1,263	1,295	1,295	1,290
	(4) その他	231	227	221	217	203	202	202	202
	うち他会計負担金 a'	38	38	38	38	16	16	16	16
	2. 医業外収益	983	1,111	1,071	1,055	1,203	1,200	1,176	1,182
	(1) 他会計負担金・補助金	892	954	936	914	1,108	1,108	1,096	1,111
	(2) 国(県)補助金	5	8	39	48	4	4	4	4
	(3) 長期前受金戻入		70	59	58	52	50	40	31
	(4) その他	86	80	37	34	39	38	36	36
経常収益(A)	5,010	5,188	5,045	4,838	5,383	5,487	5,470	5,464	
支	1. 医業費用 b	4,497	4,712	4,710	4,763	4,937	4,980	4,971	5,005
	(1) 職員給与費 c	2,276	2,330	2,339	2,436	2,476	2,534	2,525	2,555
	うち退職給付費 c'	103	93	58	92	74	112	100	115
	(2) 材料費	1,038	1,065	1,040	973	1,059	1,066	1,067	1,063
	(3) 経費	782	856	840	821	887	880	896	877
	(4) 減価償却費 d	365	429	451	494	481	468	420	469
	(5) その他	36	32	40	40	34	32	63	41
	2. 医業外費用	279	311	330	295	313	308	349	319
	(1) 支払利息	142	135	129	123	117	113	108	108
	(2) その他	137	176	202	172	196	195	241	211
経常費用(B)	4,776	5,023	5,040	5,059	5,250	5,288	5,320	5,324	
経常損益(A)-(B)(C)	234	164	5	△ 220	133	199	150	140	
特別損益	1. 特別利益(D)	2	89	3	7	6	3	3	3
	2. 特別損失(E)	94	174	7	5	6	6	6	6
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 92	△ 85	△ 4	1	0	△ 3	△ 3	△ 3
純損益(C)+(F)	142	80	1	△ 219	133	196	147	137	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	104.9	103.3	100.1	95.6	102.5	103.8	102.8	102.6	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	89.5	86.5	84.4	79.4	84.7	86.1	86.4	85.6	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	99.0	96.4	93.7	89.6	95.0	97.1	96.1	96.5	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	56.5	57.2	58.8	64.4	59.2	59.1	58.8	59.7	
病床利用率	66.4	68.7	67.4	64.5	71.6	71.6	71.6	71.6	

病院名	五島中央病院
-----	--------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分	1. 企業債	210	128	353	190	230	230	713	383
	2. 他会計出資金		290	304	320	353	351	340	385
収	3. 他会計負担金	278	7	11	10	11	11	11	11
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	54	18	11					
	7. その他		2	1					
	収入計 (a)	542	444	681	520	594	592	1,064	779
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
入	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	542	444	681	520	594	592	1,064	779
	1. 建設改良費	482	241	515	286	265	265	802	439
	2. 企業債償還金	419	458	483	515	548	542	519	607
支	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他	18	12	14	14	18	19	17	12
	支出計 (B)	919	711	1,012	815	831	826	1,338	1,058
差引不足額 (B)-(A) (C)		377	267	331	295	237	234	274	279
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	354	249	293	273	218	215	255	260
	2. 利益剰余金処分数額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	23	18	38	21	19	19	19	19
計 (D)		377	267	331	295	237	234	274	279
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		0	0	0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0	0

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	929,576	991,687	973,943	951,670	1,106,730	1,106,540	1,094,576	1,110,293
資本的収支	278,212	296,913	315,183	330,412	364,087	362,084	351,184	395,903
合計	1,207,788	1,288,600	1,289,126	1,282,082	1,470,817	1,468,624	1,445,760	1,506,196

(別紙)

病院名

奈留医療センター

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	397	255	186	194	224	224	226	224
	(1) 入院収益	123	86	70	72	96	96	97	96
	(2) 外来収益	221	102	97	104	109	109	110	109
	(4) その他	53	68	19	18	19	19	19	19
	うち他会計負担金 a'	36	36						
	2. 医業外収益	124	101	111	116	138	138	137	131
	(1) 他会計負担金・補助金	116	82	96	99	127	127	126	120
	(2) 国(県)補助金								
	(3) 長期前受金戻入		10	8	11	7	7	7	7
	(4) その他	9	9	7	6	4	4	4	4
経常収益(A)	521	356	296	310	362	362	363	355	
支	1. 医業費用 b	584	432	403	364	381	375	360	356
	(1) 職員給与費 c	303	285	266	245	260	254	239	235
	うち退職給付費 c'	11	15	25	6	15	15	10	11
	(2) 材料費	162	38	37	40	37	37	37	37
	(3) 経費	87	79	72	48	51	51	51	51
	(4) 減価償却費 d	31	28	25	30	28	29	26	26
	(5) その他	1	2	3	1	5	4	7	7
	2. 医業外費用	19	17	19	13	23	23	23	23
	(1) 支払利息	3	3	3	3	2	2	2	1
	(2) その他	16	14	17	11	21	21	21	22
経常費用(B)	603	449	422	377	404	398	383	379	
経常損益(A)-(B) (C)	△ 82	△ 93	△ 126	△ 67	△ 42	△ 36	△ 20	△ 24	
特別損益	1. 特別利益(D)	0	0	0	0				
	2. 特別損失(E)	9	39	22	22	22	22		
	特別損益(D)-(E) (F)	△ 9	△ 39	△ 22	△ 22	△ 22	△ 22	0	0
純損益(C)+(F)	△ 91	△ 132	△ 148	△ 89	△ 64	△ 58	△ 20	△ 24	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	86.4	79.3	70.2	82.1	89.6	91.0	94.8	93.7	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	67.9	59.1	46.1	53.3	58.8	59.7	62.8	62.9	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	66.6	56.4	52.6	59.1	66.3	67.7	69.8	70.2	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	76.4	111.6	143.0	126.1	116.1	113.4	105.8	104.9	
病床利用率	43.6	80.1	63.7	67.7	84.2	84.2	84.2	84.2	

病院名	奈留医療センター
-----	----------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債		27	4	5	5	5	5	5
	2. 他会計出資金		16	17	18	18	17	18	8
	3. 他会計負担金	17							
	4. 他会計借入金		2	5					
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	3	28						
	7. その他		12						
	収入計 (a)	20	86	26	23	23	22	23	13
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)		3						
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	20	83	26	23	23	22	23	13	
支 出	1. 建設改良費	7	70	12	9	9	9	9	9
	2. 企業債償還金	28	26	28	29	29	27	26	11
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他		0						
	支出計 (B)	35	96	40	38	38	36	35	20
差引不足額 (B)-(A) (C)	15	13	14	15	15	14	12	7	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	12	8	13	14	14	13	11	6
	2. 利益剰余金処分数額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	0	5	1	1	1	1	1	1
	計 (D)	12	13	14	15	15	14	12	7
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	3	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	3								
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	151,949	118,017	95,531	98,819	127,172	126,672	126,141	119,904
資本的収支	17,444	18,459	22,356	17,854	17,805	17,355	17,648	7,902
合計	169,393	136,476	117,887	116,673	144,977	144,027	143,789	127,806

(別紙)

病院名

富江病院

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医 業 収 益 a	475	558	581	556	598	598	599	598
	(1) 入 院 収 益	311	385	409	395	418	418	419	418
	(2) 外 来 収 益	116	122	116	107	142	142	142	142
	(4) そ の 他	48	51	55	54	38	38	38	38
	うち他会計負担金 a'	36	36	36	36	17	17	17	17
	2. 医 業 外 収 益	144	154	150	149	90	89	85	67
	(1) 他会計負担金・補助金	132	133	132	131	75	74	70	52
	(2) 国（県）補助金		0	0	0				
	(3) 長期前受金戻入		9	9	11	9	9	9	9
	(4) そ の 他	11	11	8	8	6	6	6	6
経 常 収 益 (A)	619	712	731	706	688	687	684	665	
入	1. 医 業 費 用 b	612	644	638	608	681	692	694	697
	(1) 職 員 給 与 費 c	374	405	410	401	436	439	441	444
	うち退職給付費 c'	12	25	25	7	2	2	2	2
	(2) 材 料 費	75	90	84	89	93	93	93	93
	(3) 経 費	129	119	113	88	105	108	108	108
	(4) 減 価 償 却 費 d	31	28	28	27	42	49	49	49
	(5) そ の 他	2	3	3	3	5	3	3	3
	2. 医 業 外 費 用	19	24	22	27	22	18	17	17
	(1) 支 払 利 息	5	5	4	3	3	2	1	1
	(2) そ の 他	13	19	19	24	19	16	16	16
経 常 費 用 (B)	631	668	660	635	703	710	711	714	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 12	44	70	71	△ 15	△ 23	△ 27	△ 49	
特別 損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	12	39	0	1	1	1	1
	2. 特 別 損 失 (E)	9	71	56	51	50	50	2	2
	特別損益 (D)-(E) (F)	△ 8	△ 59	△ 17	△ 51	△ 49	△ 49	△ 1	△ 1
純 損 益 (C)+(F)	△ 20	△ 15	53	21	△ 64	△ 72	△ 28	△ 50	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.1	106.6	110.6	111.3	97.9	96.8	96.2	93.1	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	77.6	86.6	91.0	91.5	87.8	86.4	86.3	85.8	
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	77.2	88.1	93.0	90.7	91.2	90.6	90.5	89.9	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	78.8	72.5	70.6	72.0	72.9	73.4	73.6	74.2	
病 床 利 用 率	79.7	96.3	97.5	94.3	94.5	94.5	94.5	94.5	

病院名	富江病院
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債		10	10	90	10	10	10	10
	2. 他会計出資金		45	46	47	51	51	47	17
	3. 他会計負担金	45							
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金								
	7. その他			1					
	収入計 (a)	45	55	57	137	61	61	57	27
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	45	55	57	137	61	61	57	27	
支 出	1. 建設改良費	4	12	16	96	56	14	13	13
	2. 企業債償還金	69	69	71	73	85	84	78	34
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他				1				
	支出計 (B)	73	81	87	169	141	98	91	47
差引不足額 (B)-(A) (C)	27	26	29	32	80	37	34	20	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	27	25	28	25	76	36	33	19
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	0	1	1	7	4	1	1	1
	計 (D)	27	26	29	32	80	37	34	20
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	168,763	169,347	168,415	166,978	92,188	91,058	87,426	68,983
資本的収支	45,166	45,166	46,166	47,186	51,346	50,847	46,547	16,900
合計	213,929	214,513	214,581	214,164	143,534	141,905	133,973	85,883

(別紙)

地域名 上五島地域

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医 業 収 益 a	3,671	3,602	3,675	3,873	4,044	4,045	4,047	4,082
	(1) 入 院 収 益	1,862	1,780	1,783	1,868	2,029	2,030	2,033	2,072
	(2) 外 来 収 益	1,523	1,526	1,595	1,702	1,726	1,726	1,727	1,723
	(3) そ の 他	286	295	296	303	289	289	287	287
	うち他会計負担金 a'	40	40	40	40	27	27	27	27
	2. 医 業 外 収 益	483	564	537	536	545	546	516	514
	(1) 他会計負担金・補助金	392	402	396	380	397	398	388	389
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	24	21	17	35	34	34	19	19
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	0	68	58	55	54	54	49	47
	(3) そ の 他	67	73	65	66	60	60	60	59
経 常 収 益 (A)	4,155	4,166	4,211	4,409	4,589	4,591	4,563	4,596	
入	1. 医 業 費 用 b	3,931	3,961	4,037	4,332	4,351	4,380	4,384	4,405
	(1) 職 員 給 与 費 c	2,154	2,121	2,122	2,308	2,466	2,492	2,497	2,515
	うち退職給付費 c'	108	91	78	86	83	87	89	97
	(2) 材 料 費	835	832	872	972	821	820	821	820
	(3) 経 費	512	591	640	605	597	597	596	597
	(4) 減 価 償 却 費 d	393	387	346	407	431	434	434	436
	(5) そ の 他	38	31	58	39	36	37	36	37
	2. 医 業 外 費 用	118	150	223	205	161	161	160	164
	(1) 支 払 利 息	6	5	3	3	3	3	3	3
	(2) そ の 他	112	145	220	203	158	158	157	161
経 常 費 用 (B)	4,049	4,111	4,260	4,538	4,512	4,541	4,544	4,569	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	106	55	△ 49	△ 129	77	50	19	27	
特別 損益	1. 特 別 利 益 (D)	2	190	5	3	1	1	1	1
	2. 特 別 損 失 (E)	12	421	54	50	49	49	5	5
	特別損益 (D)-(E) (F)	△ 11	△ 231	△ 49	△ 47	△ 48	△ 48	△ 4	△ 4
純 損 益 (C)+(F)	95	△ 176	△ 98	△ 176	29	2	15	23	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.6	101.3	98.8	97.2	101.7	101.1	100.4	100.6	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	93.4	90.9	91.0	89.4	92.9	92.4	92.3	92.7	
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	105.9	102.3	100.6	99.8	104.7	104.1	104.1	104.7	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	58.7	58.9	57.7	59.6	61.0	61.6	61.7	61.6	
病 床 利 用 率	83.9	80.8	81.8	85.1	85.5	85.5	85.3	85.5	

地域名	上五島地域
-----	-------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	170	159	384	70	70	70	70	286
	2. 他会計出資金	0	121	119	89	169	168	159	159
	3. 他会計負担金	127	9	8	6	8	8	8	8
	4. 他会計借入金	1	1	1	1	1	1	1	1
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	31	3	0	0	0	0	0
	7. その他	1	2	45	1	0	0	0	0
	収入計 (a)	300	322	560	167	248	247	238	454
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	300	322	560	167	248	247	238	454	
支 出	1. 建設改良費	265	238	755	370	240	242	240	348
	2. 企業債償還金	199	205	202	176	168	169	149	148
	3. 他会計長期借入金返還金	1	1	2	2	2	2	2	2
	4. その他	17	58	13	11	15	15	15	15
	支出計 (B)	482	502	973	560	425	428	406	513
差引不足額 (B)-(A) (C)	182	179	413	392	177	181	168	59	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	169	162	357	365	145	148	134	16
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	13	18	56	27	32	33	34	43
	計 (D)	182	179	413	392	177	181	168	59
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	431,504	441,216	435,795	420,063	424,160	424,364	414,872	414,863
資本的収支	127,967	130,219	127,737	96,648	176,478	176,533	166,548	166,594
合計	559,471	571,435	563,532	516,711	600,638	600,897	581,420	581,457

(別紙)

病院名

上五島病院

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医 業 収 益 a	3,100	3,016	3,095	3,323	3,465	3,466	3,467	3,503
	(1) 入 院 収 益	1,862	1,780	1,783	1,868	2,029	2,030	2,033	2,072
	(2) 外 来 収 益	1,026	1,014	1,086	1,219	1,220	1,220	1,220	1,218
	(4) そ の 他	212	222	226	235	216	216	214	213
	うち他会計負担金 a'	40	40	40	40	27	27	27	27
	2. 医 業 外 収 益	360	412	395	433	473	473	442	440
	(1) 他会計負担金・補助金	271	285	280	299	345	345	335	335
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	24	21	17	35	34	34	19	19
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入		36	36	37	36	36	31	29
	(4) そ の 他	64	70	62	62	58	58	57	57
経 常 収 益 (A)	3,460	3,429	3,491	3,755	3,938	3,939	3,909	3,943	
支	1. 医 業 費 用 b	3,195	3,309	3,392	3,707	3,714	3,748	3,761	3,785
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,743	1,792	1,790	1,972	2,129	2,153	2,164	2,186
	うち退職給付費 c'	60	81	58	71	69	72	74	82
	(2) 材 料 費	706	697	736	847	689	688	689	688
	(3) 経 費	420	491	545	519	502	502	501	502
	(4) 減 価 償 却 費 d	291	303	276	335	360	370	373	374
	(5) そ の 他	35	27	46	35	34	35	34	35
	2. 医 業 外 費 用	105	126	201	188	138	138	137	141
	(1) 支 払 利 息	4	3	2	1	1	1	1	1
	(2) そ の 他	101	123	199	187	137	137	136	140
経 常 費 用 (B)	3,299	3,435	3,593	3,896	3,852	3,886	3,898	3,926	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	160	△ 6	△ 102	△ 140	86	53	11	17	
特別 損益	1. 特 別 利 益 (D)	1	28	1	2	1	1	1	1
	2. 特 別 損 失 (E)	6	128	23	20	20	20	5	5
	特別損益 (D)-(E) (F)	△ 5	△ 100	△ 22	△ 17	△ 19	△ 19	△ 4	△ 4
純 損 益 (C)+(F)	155	△ 106	△ 125	△ 158	67	34	7	13	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	104.9	99.8	97.2	96.4	102.2	101.4	100.3	100.4	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	97.0	91.2	91.2	89.6	93.3	92.5	92.2	92.5	
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	107.6	101.8	99.9	99.4	104.7	104.0	103.8	104.4	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	56.2	59.4	57.8	59.4	61.4	62.1	62.4	62.4	
病 床 利 用 率	83.9	80.8	81.8	85.1	85.5	85.5	85.3	85.5	

病院名	上五島病院
-----	-------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	165	47	314	53	50	50	50	266
	2. 他会計出資金		103	102	66	148	147	136	136
	3. 他会計負担金	94	9	8	6	8	8	8	8
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	0	31	3					
	7. その他	1	2	45	1				
	収入計 (a)	261	191	472	126	206	205	194	410
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	261	191	472	126	206	205	194	410	
支 出	1. 建設改良費	259	119	663	343	218	220	218	326
	2. 企業債償還金	138	169	168	130	127	126	103	103
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他	17	58	13	11	15	15	15	15
	支出計 (B)	414	346	844	484	360	361	336	444
差引不足額 (B)-(A) (C)	154	154	373	358	154	156	142	34	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	141	146	323	332	138	140	126	10
	2. 利益剰余金処分数額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	12	9	49	25	16	16	16	24
	計 (D)	154	154	373	358	154	156	142	34
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	311,146	324,974	319,716	338,887	371,883	371,590	361,453	361,623
資本的収支	94,047	111,200	109,509	72,468	155,606	154,806	143,306	143,606
合計	405,193	436,174	429,225	411,355	527,489	526,396	504,759	505,229

(別紙)

病院名 有川医療センター

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	403	405	415	399	413	413	414	413
	(1) 入院収益								
	(2) 外来収益	353	362	367	351	363	363	364	362
	(4) その他	50	43	48	48	50	50	50	51
	うち他会計負担金 a'								
	2. 医業外収益	59	71	65	28	36	36	36	36
	(1) 他会計負担金・補助金	58	54	53	18	26	26	26	26
	(2) 国(県)補助金								
	(3) 長期前受金戻入		15	10	8	8	8	8	8
	(4) その他	2	2	2	2	2	2	2	2
経常収益(A)	462	476	480	428	449	449	450	449	
支	1. 医業費用 b	410	396	394	391	397	397	397	398
	(1) 職員給与費 c	220	192	194	202	203	205	206	206
	うち退職給付費 c'	7	8	8	7	7	8	8	8
	(2) 材料費	95	100	101	93	96	96	96	96
	(3) 経費	43	57	56	51	55	55	55	55
	(4) 減価償却費 d	51	42	40	43	41	39	38	39
	(5) その他	2	4	4	2	2	2	2	2
	2. 医業外費用	7	11	13	10	13	13	13	13
	(1) 支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) その他	7	11	13	10	13	13	13	13
経常費用(B)	417	407	407	401	410	410	410	411	
経常損益(A)-(B)(C)	44	69	72	26	39	39	40	38	
特別損益	1. 特別利益(D)	1	2	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	7	25	14	13	13	13	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	△6	△23	△14	△13	△13	△13	0	0
純損益(C)+(F)	38	46	58	14	26	26	40	38	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	110.6	117.0	117.8	106.6	109.5	109.5	109.8	109.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	98.1	102.4	105.3	102.1	104.0	104.0	104.3	103.8	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	114.1	117.4	120.1	117.1	118.3	118.0	117.9	117.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	54.7	47.4	46.8	50.7	49.2	49.6	49.8	49.9	
病床利用率	—	—	—	—	—	—	—	—	

病院名	有川医療センター
-----	----------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度	
収 入	1. 企業債	5	23	30	5	10	10	10	10	
	2. 他会計出資金		6	5	8	8	7	8	7	
	3. 他会計負担金	11								
	4. 他会計借入金									
	5. 他会計補助金									
	6. 国(県)補助金									
	7. その他									
	収入計 (a)	16	29	35	13	18	17	18	17	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)									
	前年度許可債で当年度借入分 (c)									
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	16	29	35	13	18	17	18	17	
	支 出	1. 建設改良費	6	27	45	13	11	11	11	11
		2. 企業債償還金	21	13	10	16	15	15	16	13
		3. 他会計長期借入金返還金								
4. その他										
支出計 (B)		27	40	55	30	26	26	27	24	
差引不足額 (B)-(A) (C)	11	11	20	17	8	9	9	7		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	11	9	16	15	7	8	8	6	
	2. 利益剰余金処分量									
	3. 繰越工事資金									
	4. その他	0	2	3	1	1	1	1	1	
	計 (D)	11	11	20	16	8	9	9	7	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)										
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0		

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	57,558	54,013	53,186	17,853	26,061	26,008	26,261	25,694
資本的収支	10,700	6,400	5,200	8,200	7,500	7,300	7,800	6,500
合計	68,258	60,413	58,386	26,053	33,561	33,308	34,061	32,194

(別紙)

病院名 奈良尾医療センター

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医 業 収 益 a	169	180	164	151	166	166	166	166
	(1) 入 院 収 益								
	(2) 外 来 収 益	145	150	143	132	143	143	143	143
	(4) そ の 他	24	30	22	19	23	23	23	23
	うち他会計負担金 a'								
	2. 医 業 外 収 益	64	80	76	74	36	37	38	38
	(1) 他会計負担金・補助金	63	62	63	63	26	27	27	28
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金								
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入		17	12	10	10	10	10	10
	(4) そ の 他	1	1	1	1	0	0	1	0
経 常 収 益 (A)	233	260	241	225	202	203	204	204	
入	1. 医 業 費 用 b	326	257	251	234	240	235	226	222
	(1) 職 員 給 与 費 c	191	137	138	134	134	134	127	123
	うち退職給付費 c'	42	3	11	8	7	7	7	7
	(2) 材 料 費	34	35	35	32	36	36	36	36
	(3) 経 費	49	42	39	36	40	40	40	40
	(4) 減 価 償 却 費 d	51	42	29	30	30	25	23	23
	(5) そ の 他	1	1	9	2	0	0	0	0
	2. 医 業 外 費 用	6	12	9	7	10	10	10	10
	(1) 支 払 利 息	2	1	1	1	2	2	2	2
	(2) そ の 他	4	11	8	5	8	8	8	8
経 常 費 用 (B)	332	269	260	241	250	245	236	232	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 99	△ 9	△ 19	△ 15	△ 48	△ 42	△ 32	△ 28	
特別 損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	160	4	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	268	16	17	16	16	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)	0	△ 108	△ 13	△ 17	△ 16	△ 16	0	0
純 損 益 (C)+(F)	△ 99	△ 117	△ 32	△ 32	△ 64	△ 58	△ 32	△ 28	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	70.2	96.8	92.6	93.7	80.8	82.9	86.4	87.9	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	51.8	70.0	65.6	64.6	69.2	70.6	73.5	74.8	
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	72.5	84.9	78.2	77.0	81.8	81.8	84.7	86.5	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	113.2	75.9	83.9	88.4	80.7	80.7	76.5	74.1	
病 床 利 用 率	—	—	—	—	—	—	—	—	

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分	1. 企業債		89	40	12	10	10	10	10
	2. 他会計出資金		12	12	15	13	14	15	16
収	3. 他会計負担金	23							
	4. 他会計借入金	1	1	1	1	1	1	1	1
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金								
	7. その他								
	収入計 (a)	23	102	53	28	24	25	26	27
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
前年度許可債で当年度借入分 (c)									
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	23	102	53	28	24	25	26	27	
支	1. 建設改良費	1	91	48	14	11	11	11	11
	2. 企業債償還金	39	23	23	29	26	28	30	32
	3. 他会計長期借入金返還金	1	1	2	2	2	2	2	2
	4. その他				1				
支出計 (B)	40	116	73	46	39	41	43	45	
差引不足額 (B)-(A) (C)	17	14	20	18	15	16	17	18	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	17	7	17	17				
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	0	7	4	1	15	16	17	18
計 (D)	17	14	20	18	15	16	17	18	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	62,800	62,229	62,893	63,323	26,216	26,766	27,158	27,546
資本的収支	23,220	12,619	13,028	15,980	13,372	14,427	15,442	16,488
合計	86,020	74,848	75,921	79,303	39,588	41,193	42,600	44,034

(別紙)

地域名

対馬地域

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	5,581	5,338	4,998	5,393	5,375	5,717	5,835	5,944
	(1) 入院収益	3,296	3,081	2,862	3,197	3,205	3,546	3,663	3,780
	(2) 外来収益	1,812	1,786	1,645	1,766	1,770	1,770	1,771	1,764
	(3) その他	473	471	491	430	400	400	401	400
	うち他会計負担金 a'	117	117	117	78	62	62	62	62
	2. 医業外収益	933	1,132	1,003	1,076	1,082	1,105	1,092	1,081
	(1) 他会計負担金・補助金	792	818	807	818	901	914	904	899
	(2) 国(県)補助金	11	15	52	48	20	20	20	20
	(3) 長期前受金戻入	0	143	69	135	103	101	100	96
	(3) その他	130	157	74	75	58	70	68	67
経常収益(A)	6,514	6,470	6,001	6,469	6,458	6,822	6,927	7,025	
支	1. 医業費用 b	6,448	6,433	6,156	6,773	6,914	6,939	6,962	7,008
	(1) 職員給与費 c	3,705	3,754	3,652	3,726	3,873	3,905	3,951	4,012
	うち退職給付費 c'	125	86	152	156	140	146	148	145
	(2) 材料費	1,215	1,161	1,117	1,158	1,115	1,115	1,126	1,134
	(3) 経費	1,096	983	1,039	1,020	1,086	1,086	1,086	1,088
	(4) 減価償却費 d	347	475	298	803	794	786	754	728
	(5) その他	85	60	49	64	46	47	46	46
	2. 医業外費用	194	220	278	303	285	279	276	274
	(1) 支払利息	27	25	55	53	51	50	48	46
	(2) その他	167	195	223	250	234	229	228	228
経常費用(B)	6,643	6,653	6,434	7,076	7,200	7,218	7,238	7,282	
経常損益(A)-(B)(C)	△ 129	△ 183	△ 433	△ 607	△ 742	△ 396	△ 311	△ 257	
特別損益	1. 特別利益(D)	7	118	857	332	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	36	291	2,886	168	63	63	1	1
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 30	△ 172	△ 2,029	165	△ 63	△ 63	△ 1	△ 1
純損益(C)+(F)	△ 158	△ 355	△ 2,462	△ 442	△ 805	△ 459	△ 312	△ 258	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.1	97.3	93.3	91.4	89.7	94.5	95.7	96.5	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	86.5	83.0	81.2	79.6	77.7	82.4	83.8	84.8	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	91.4	88.9	85.5	91.4	88.8	94.1	95.2	95.9	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	66.4	70.3	73.1	69.1	72.1	68.3	67.7	67.5	
病床利用率	76.2	70.0	73.6	79.3	78.6	78.6	80.6	83.0	

地域名	対馬地域
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分	1. 企業債	595	2,684	722	70	70	70	70	70
	2. 他会計出資金	0	223	230	132	154	183	167	157
収	3. 他会計負担金	219	8	12	14	12	12	12	12
	4. 他会計借入金	75	206	39	0	4	18	19	24
	5. 他会計補助金	0	0	0	4	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	658	2,432	5	7	0	0	0	0
	7. その他	551	1,687	6	0	1	1	1	1
	収入計 (a)	2,099	7,239	1,015	226	241	285	269	264
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	2,099	7,239	1,015	226	241	285	269	264
	入	1. 建設改良費	2,053	7,939	982	189	122	122	122
2. 企業債償還金		334	358	400	251	282	289	259	241
3. 他会計長期借入金返還金		0	6	0	0	13	52	53	53
4. その他		26	18	23	29	26	26	26	26
支出計 (B)		2,413	8,321	1,404	468	442	489	460	442
差引不足額 (B)-(A) (C)	315	1,082	389	242	201	205	190	178	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	218	526	318	228	192	195	181	169
	2. 利益剰余金処分数額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	97	556	71	14	9	9	9	9
	計 (D)	315	1,082	389	242	201	205	190	178
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	909,596	934,882	924,527	895,984	962,487	976,137	965,646	960,496
資本的収支	293,854	436,981	281,831	145,740	170,056	213,813	197,745	192,902
合計	1,203,450	1,371,863	1,206,358	1,041,724	1,132,543	1,189,950	1,163,391	1,153,398

(別紙)

病院名

対馬病院

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	4,855	4,589	4,263	4,613	4,618	4,960	5,077	5,188
	(1) 入院収益	2,960	2,727	2,514	2,805	2,792	3,133	3,249	3,367
	(2) 外来収益	1,539	1,504	1,376	1,494	1,496	1,496	1,497	1,491
	(4) その他	356	358	373	314	330	330	331	330
	うち他会計負担金 a'	79	79	79	40	56	56	56	56
	2. 医業外収益	717	864	743	803	818	843	839	829
	(1) 他会計負担金・補助金	617	627	622	629	689	704	702	697
	(2) 国(県)補助金	8	11	32	27	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	0	108	39	95	90	89	89	85
	(4) その他	92	119	50	52	39	50	48	47
経常収益(A)	5,572	5,453	5,007	5,416	5,437	5,803	5,916	6,017	
支	1. 医業費用 b	5,482	5,444	5,163	5,783	5,912	5,952	6,015	6,072
	(1) 職員給与費 c	3,084	3,132	3,018	3,103	3,215	3,255	3,312	3,371
	うち退職給付費 c'	102	80	116	121	109	111	113	114
	(2) 材料費	1,100	1,043	998	1,038	997	997	1,008	1,016
	(3) 経費	955	870	923	897	966	966	967	969
	(4) 減価償却費 d	277	367	199	689	699	699	694	681
	(5) その他	67	31	26	56	35	35	35	35
	2. 医業外費用	144	173	226	249	233	227	225	223
	(1) 支払利息	19	17	48	46	45	44	43	41
	(2) その他	125	156	178	202	188	183	182	182
経常費用(B)	5,626	5,617	5,389	6,032	6,146	6,179	6,240	6,295	
経常損益(A)-(B)(C)	△ 55	△ 164	△ 383	△ 615	△ 709	△ 376	△ 324	△ 278	
特別損益	1. 特別利益(D)	7	109	857	331	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	11	207	2,843	124	19	19	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 4	△ 97	△ 1,987	206	△ 19	△ 19	△ 0	△ 0
純損益(C)+(F)	△ 59	△ 261	△ 2,369	△ 409	△ 728	△ 395	△ 324	△ 278	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	99.0	97.1	92.9	89.8	88.5	93.9	94.8	95.6	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	88.6	84.3	82.6	79.8	78.1	83.3	84.4	85.4	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	93.6	90.3	86.3	92.0	89.4	95.4	96.4	97.3	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	63.5	68.3	70.8	67.3	69.6	65.6	65.2	65.0	
病床利用率	78.8	71.2	76.5	82.1	80.5	80.5	82.9	85.9	

病院名	対馬病院
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分	1. 企業債	401	2,672	714	60	55	55	55	55
	2. 他会計出資金	0	144	189	91	116	147	148	140
収	3. 他会計負担金	154	7	11	13	11	11	11	11
	4. 他会計借入金	75	206	39	0	4	18	19	24
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金	630	2,431	5	7				
	7. その他	551	1,685	4					
	収入計 (a)	1,811	7,145	963	171	186	232	233	230
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	1,811	7,145	963	171	186	232	233	230
	入	1. 建設改良費	1,813	7,923	972	173	100	100	100
2. 企業債償還金		232	223	320	172	209	220	225	209
3. 他会計長期借入金返還金		0	6	0	0	13	52	53	53
4. その他		24	15	20	27	25	25	25	25
支出計 (B)		2,069	8,167	1,313	372	346	397	403	387
差引不足額 (B)-(A) (C)	258	1,021	349	202	160	166	169	157	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	173	466	279	189	153	158	162	150
	2. 利益剰余金処分数額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	
	4. その他	85	555	71	13	7	7	7	7
	計 (D)	258	1,021	349	202	160	166	169	157
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	696,868	706,235	701,623	668,770	745,399	760,430	758,357	753,365
資本的収支	228,805	357,569	239,820	103,818	131,012	176,736	178,225	174,894
合計	925,673	1,063,804	941,443	772,588	876,411	937,166	936,582	928,259

※H25～H27年度実績には、再編統合前の旧対馬いづはら病院及び旧中対馬病院を含む。(H27.517対馬病院開院)

(別紙)

病院名

上対馬病院

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	726	749	735	780	757	757	758	756
	(1) 入院収益	336	354	348	393	413	413	414	413
	(2) 外来収益	273	282	269	272	274	274	274	273
	(4) その他	117	113	118	116	70	70	70	70
	うち他会計負担金 a'	38	38	38	38	6	6	6	6
	2. 医業外収益	216	268	259	272	264	262	253	252
	(1) 他会計負担金・補助金	175	191	185	189	211	210	202	201
	(2) 国(県)補助金	3	3	20	21	20	20	20	20
	(3) 長期前受金戻入		35	30	39	13	12	11	11
	(4) その他	38	38	24	23	20	20	20	20
経常収益(A)	942	1,017	994	1,053	1,021	1,019	1,011	1,008	
支	1. 医業費用 b	966	989	992	990	1,002	987	947	936
	(1) 職員給与費 c	621	622	635	623	658	650	639	641
	うち退職給付費 c'	22	5	36	35	31	35	35	31
	(2) 材料費	116	117	120	120	118	118	118	118
	(3) 経費	140	113	116	123	120	120	119	119
	(4) 減価償却費 d	70	108	99	114	95	87	60	47
	(5) その他	18	28	23	8	11	12	11	11
	2. 医業外費用	50	47	52	54	52	52	51	51
	(1) 支払利息	9	8	7	6	6	6	5	5
	(2) その他	41	39	45	48	46	46	46	46
経常費用(B)	1,016	1,036	1,044	1,044	1,054	1,039	998	987	
経常損益(A)-(B)(C)	△ 74	△ 19	△ 50	9	△ 33	△ 20	13	21	
特別損益	1. 特別利益(D)	0	9	0	2	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	26	84	43	43	44	44	1	1
	特別損益(D)-(E)(F)	△ 26	△ 75	△ 42	△ 42	△ 44	△ 44	△ 1	△ 1
純損益(C)+(F)	△ 100	△ 94	△ 93	△ 33	△ 77	△ 64	12	20	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	92.7	98.1	95.2	100.8	96.9	98.1	101.3	102.1	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	75.2	75.7	74.1	78.9	75.5	76.7	80.0	80.8	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	78.8	81.2	81.3	88.3	85.7	86.8	88.3	87.4	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	85.6	83.0	86.3	79.9	86.9	85.9	84.3	84.8	
病床利用率	61.2	62.9	59.9	66.6	70.0	70.0	70.0	70.0	

病院名	上対馬病院
-----	-------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	194	12	8	10	15	15	15	15
	2. 他会計出資金		79	41	41	38	36	19	17
	3. 他会計負担金	65	1	1	1	1	1	1	1
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金				4				
	6. 国(県)補助金	29	0						
	7. その他		2	2		1	1	1	1
	収入計 (a)	288	94	52	56	55	53	36	34
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	288	94	52	56	55	53	36	34	
支 出	1. 建設改良費	239	16	10	15	22	22	22	22
	2. 企業債償還金	103	135	79	79	73	69	34	32
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他	3	3	2	1	1	1	1	1
	支出計 (B)	344	154	91	96	96	92	57	55
差引不足額 (B)-(A) (C)	57	61	40	40	41	39	21	21	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	45	60	39	39	39	37	19	19
	2. 利益剰余金処分数額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他	11	1	1	1	2	2	2	2
	計 (D)	57	61	40	40	41	39	21	21
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	212,728	228,647	222,904	227,214	217,088	215,707	207,289	207,131
資本的収支	65,049	79,412	42,011	41,922	39,044	37,077	19,520	18,008
合計	277,777	308,059	264,915	269,136	256,132	252,784	226,809	225,139

(別紙)

病院名

吉岐病院

## 1. 収支計画 (収益的収支)

税抜き

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
区分									
収	1. 医業収益 a	2,373	2,308	2,297	2,575	2,620	2,660	2,741	2,775
	(1) 入院収益	1,590	1,509	1,492	1,724	1,738	1,769	1,807	1,834
	(2) 外来収益	646	652	640	664	667	674	714	718
	(3) その他	137	148	165	186	215	217	220	223
	うち他会計負担金 a'	43	43	43	43	77	77	77	77
	2. 医業外収益	482	458	485	458	434	426	433	424
	(1) 他会計負担金・補助金	457	422	446	418	395	385	393	391
	(2) 国(県)補助金		2	1	2				
	(3) 長期前受金戻入		26	24	23	24	23	22	15
	(4) その他	25	8	14	15	15	18	18	18
経常収益(A)	2,855	2,766	2,782	3,033	3,054	3,086	3,174	3,199	
支	1. 医業費用 b	2,587	2,736	2,747	2,952	2,967	3,021	3,073	3,041
	(1) 職員給与費 c	1,498	1,627	1,634	1,721	1,766	1,801	1,825	1,805
	うち退職給付費 c'	127	138	57	75	61	75	90	73
	(2) 材料費	465	427	390	481	446	448	453	453
	(3) 経費	387	432	480	475	472	473	473	474
	(4) 減価償却費 d	209	216	225	259	267	277	306	293
	(5) その他	28	34	17	17	16	22	16	16
	2. 医業外費用	131	126	154	148	151	154	153	149
	(1) 支払利息	65	63	60	58	56	59	59	55
	(2) その他	65	63	94	90	95	95	94	94
経常費用(B)	2,718	2,862	2,901	3,100	3,118	3,175	3,226	3,190	
経常損益(A)-(B)(C)	137	△96	△119	△68	△64	△89	△52	9	
特別損益	1. 特別利益(D)	3	285	5	10	6	6	6	6
	2. 特別損失(E)	17	186	75	85	75	75	6	6
	特別損益(D)-(E)(F)	△14	99	△69	△75	△69	△69	0	0
純損益(C)+(F)	123	4	△188	△143	△133	△158	△52	9	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	105.0	96.7	95.9	97.8	97.9	97.2	98.4	100.3	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	91.7	84.4	83.6	87.2	88.3	88.1	89.2	91.3	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	103.5	95.1	91.4	96.7	96.4	96.8	99.5	100.9	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	63.1	70.5	71.1	66.8	67.4	67.7	66.6	65.0	
病床利用率	78.7	76.8	76.2	85.9	86.5	87.7	88.3	89.0	

病院名	吉岐病院
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	58	151	300	111	350	250	50	50
	2. 他会計出資金	100	104	97	128	141	126	147	149
	3. 他会計負担金			6	8	1	1	1	1
	4. 他会計借入金	54	87						
	5. 他会計補助金	35							
	6. 国(県)補助金	56	19	2	6				
	7. その他	1		1					
	収入計 (a)	304	361	406	252	492	377	198	200
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	304	361	406	252	492	377	198	200	
支 出	1. 建設改良費	227	304	327	132	360	260	60	60
	2. 企業債償還金	148	151	152	213	237	243	282	284
	3. 他会計長期借入金返還金	9	12						
	4. その他	7		6	10	13	15	18	18
	支出計 (B)	391	467	485	356	610	518	360	362
差引不足額 (B)-(A) (C)	87	106	79	103	118	141	162	162	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	87	106	55	93	118	141	162	162
	2. 利益剰余金処分数額								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他			24	10				
	計 (D)	87	106	79	103	118	141	162	162
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	499,592	464,605	489,103	460,641	472,939	462,935	470,991	468,943
資本的収支	188,699	190,418	102,635	135,745	140,898	126,002	146,844	148,877
合計	688,291	655,023	591,738	596,386	613,837	588,937	617,835	617,820

※H25～H26年度実績は、病院企業団加入前の旧吉岐市民病院の決算額。(H274.1病院企業団加入)

(資料1)長崎県病院企業団病院の概要

施設名		精神医療センター	島原病院	五島中央病院	奈留医療センター
所在地		大村市西部町1575-2	島原市下川尻町7895	五島市吉久木町205	五島市奈留町浦1644
電話番号		0957(53)3103	0957(63)1145	0959(72)3181	0959(64)2014
FAX番号		0957(52)2401	0957(63)4864	0959(72)2881	0959(64)3447
離島医療圏組合加入		—	—	昭和43年4月1日	昭和43年4月1日
企業団加入		平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日
建設	建築	昭和60年7月	平成14年1月	平成14年2月	昭和52年12月
	増改築	改築平成20年4月 増築平成25年3月	増築平成23年4月 増築平成25年3月		増改築昭和57年3月 増改築平成4年3月 改修平成27年6月
診療科目		精神科 内科 歯科	内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 血液内科(H24.1～) 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科(H26.8～) 麻酔科	内科 精神科 神経内科 消化器内科(H24.4～) 循環器内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科	内科 精神科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 リハビリテーション科
		合計	3科	17科	16科
病床数 (床)	一般		250	230	19
	療養(医療型)				
	精神	139		60	
	結核			10	
	感染症		4	4	
合計	139	254	304	19	
看護配置		救急病棟 10:1 医療観察法病棟 1:1.3+4 思春期病棟 10:1 その他 15:1	一般 7:1(H21.4～) 地域包括ケア 13:1(H26.10～)	一般・結核 10:1 精神 15:1	有床診療所1(H26.1～)
救急告示		—	S58.7.1	S54.9.28	S54.2.16
併設施設等					老人介護支援センター (運営受託)
人工透析(床)		0	0	15	3
院外処方 給食委託		○ ○(H23.4～)	○ ○(H22.4～)	○ △	○(H26.4～) ×
備考		長崎県精神科救急医療システム基幹病院 精神科救急医療センター 精神科救急情報センター 医療観察法指定入院・通院医療機関 児童・思春期精神科専門病棟・専門外来 精神科専門医制度研修施設 臨床研修病院(協力型) 応急入院指定病院 電子カルテ(医療観察法病棟) ECTセンター	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 高次脳卒中センター 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 病院機能評価認定 リニアック MRI 電子カルテ(H22.6～)	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 病院機能評価認定 応急入院指定病院 MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H26.3～)	五島中央病院附属診療所(H26.1～) 臨床研修協力施設 遠隔画像診断システム

(資料1)長崎県病院企業団病院の概要

施設名		富江病院	上五島病院	有川医療センター	奈良尾医療センター
所在地		五島市富江町 狩立499	南松浦郡新上五島町 青方郷1549-11	南松浦郡新上五島町 有川郷2255	南松浦郡新上五島町 奈良尾郷字新港1000
電話番号		0959(86)2131	0959(52)3000	0959(42)0320	0959(44)1010
FAX番号		0959(86)0400	0959(52)2981	0959(42)0754	0959(44)1717
離島医療圏組合加入		昭和43年4月1日	昭和43年4月1日	昭和55年6月1日	昭和43年4月1日
企業団加入		平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日
建設	建築	平成4年1月	昭和61年6月	昭和55年3月	昭和55年9月
	増改築		増築 平成3年2月 増築 平成8年2月 増築 平成12年7月 増改築 平成16年9月 増改築 平成28年7月	増改築 平成5年2月 増改築 平成17年11月 改修 平成23年2月	増築 平成10年3月 移転新築 平成24年3月
診療科目		内科 小児科 外科 整形外科 眼科 リハビリテーション科	内科 精神科 神経内科 消化器内科(H24.4~) 循環器内科(H26.4~) 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科(H22.4~)	内科 小児科 外科 整形外科 リハビリテーション科(H23.4~)	内科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科
		合計	6科	16科	5科
病床数 (床)	一般	55	132	0	0
	療養(医療型)		50		
	精神				
	結核				
	感染症		4		
合計	55	186	0	0	
看護配置		一般 15:1 6:1補助	一般 10:1(H22.1~) 地域包括ケア 13:1(H28.12~)	—	—
救急告示		S55.3.7	S58.4.1	—	—
併設施設等			訪問看護ST		
人工透析(床)		4	10	20	0
院外処方		○	○	○	○(H24.4~)
給食委託		×	×	—	—
備考		協力型臨床研究病院 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H29.3~)	災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ	上五島病院附属診療所 (H21.11~) 電子カルテ(H21.11~)	上五島病院附属診療所 (H23.4~) 電子カルテ(H23.4~)

(資料1)長崎県病院企業団病院の概要

施設名		対馬病院	(旧 対馬いづはら病院)	(旧 中対馬病院)	上対馬病院
所在地		対馬市美津島町 雞知乙1168-7	対馬市巖原町東里 303-1	対馬市美津島町 雞知甲1304-1	対馬市上対馬町 比田勝630
電話番号		0920(54)7111	0920(52)1910	0920(54)2024	0920(86)4321
FAX番号		0920(54)7110	0920(52)1901	0920(54)4171	0920(86)4324
離島医療圏組合加入		旧2病院の再編統合により 平成27年5月17日開院	昭和43年4月1日	平成12年2月1日	昭和43年4月1日
企業団加入			平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日
建設	建築	平成27年2月	昭和63年3月	昭和56年4月	昭和60年3月
	増改築		増築 平成5年3月 増築 平成8年9月 増築 平成11年3月 増改築 平成15年3月 建物譲渡 平成28年3月	増築 平成12年2月 増築 平成16年3月 解体 平成28年3月	増築 平成8年3月 増築 平成17年3月
診療科目		内科 精神科 神経内科 消化器内科 循環器内科 血液内科 人工透析内科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 腫瘍内科 腫瘍外科 緩和ケア放射線科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 臨床検査科 麻酔科 救急科	内科 精神科 神経内科 消化器内科(H25.1~) 循環器内科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 救急科(H22.4~)	内科 神経内科 循環器内科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科	内科 精神科 神経内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科
	合計	25科	(19科)	(14科)	14科
病床数 (床)	一般	222	(154)	(90)	60
	療養(医療型)			(37)	
	精神	45	(45)		
	結核	4		(8)	
	感染症	4		(4)	
合計	275	(199)	(139)	60	
看護配置	一般 精神 10:1 15:1 地域包括ケア 13:1(H28.4~)	一般 10:1 精神 15:1 15:1補助	一般・結核 10:1	一般 10:1	
救急告示	H27.5.17	S55.2.15	H12.3.10	S55.2.15	
併設施設等		居宅介護支援事業所 (~H24)		訪問看護ST 通所リハビリテーション	
人工透析(床)	40	(24)	(9)	14	
院外処方	○	○	○	○	
給食委託	○	×	○	×	
備考	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 協力型臨床研修病院 応急入院指定病院 リニアック MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H27.5~)	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 協力型臨床研修病院 病院機能評価認定 応急入院指定病院 MRI 遠隔画像診断システム	二次救急輪番制病院 へき地医療拠点病院 第二種感染症指定医療機関 病院機能評価認定 臨床研修協力施設 遠隔画像診断システム	二次救急輪番制病院 へき地医療拠点病院 臨床研修協力施設 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H26.2~)	

(資料1)長崎県病院企業団病院の概要

施設名		吉 岐 病 院	計
所在地		吉岐市郷ノ浦町 東触1626	
電話番号		0920(47)1131	
FAX番号		0920(47)5607	
離島医療圏組合加入		-	
企業団加入		平成27年4月1日	
建設	建築	平成17年3月	
	増改築	改 築 平成25年3月	
		増 築 平成28年3月	
診療科目		内科 精神科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科	
合計		17科	138科
病床数 (床)	一般	120	1,088
	療養(医療型)	48	98
	精神	50	294
	結核	6	20
	感染症	4	20
	合計	228	1,520
看護配置		一般 10:1 地域包括ケア 13:1(H26.12~)	
救急告示		S42.9.16	
併設施設等			
人工透析(床)		8	114
院外処方		○	
給食委託		○	
備考		二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院(H26.4~) がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 臨床研修協力施設 MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H27.10~)	